

第19回 環境コミュニケーション大賞

表彰式



日時 2016年2月24日(水)

13:30~16:30

会場 品川プリンスホテル(東京都港区高輪4-10-30)

主催：環境省、一般財団法人 地球・人間環境フォーラム

協賛：一般社団法人 サステナビリティ情報審査協会

協力：一般財団法人 持続性推進機構、日本公認会計士協会

後援：株式会社 東洋経済新報社、一般社団法人 日本経済団体連合会、日本商工会議所、株式会社 日本取引所グループ

第 19 回環境コミュニケーション大賞 表彰式

1.プログラム

・開会挨拶	環境省	
・表彰状授与	環境大臣賞	全部門
	その他各賞	環境報告書部門
		環境活動レポート部門
・受賞者代表挨拶	イオン株式会社	
・講評	環境報告書部門選考ワーキンググループ座長 環境監査研究会代表幹事・	後藤 敏彦
	G4 マルチステークホルダー委員会アドバイザー	
	環境報告書部門選考ワーキンググループ委員 みずほ情報総研(株)シニアコンサルタント	村上 智美
・審査委員長特別講演	東京大学名誉教授	山本 良一
・閉会挨拶		

1.プログラム.....	1
2.開催趣旨	2
3.表彰の実施にあたって	3
4.受賞一覧	5
5.受賞作品講評.....	9
6.審査委員	41
7.応募団体一覧.....	44

2. 開催趣旨

2.開催趣旨

「環境コミュニケーション大賞」は、優れた環境報告書等や環境活動レポートを表彰することにより、事業者等の環境経営及び環境コミュニケーションへの取組を促進するとともに、環境情報開示の質の向上を図ることを目的とする表彰制度であり、今年で19回目を迎えます。

表彰部門は、CSR(企業の社会的責任: Corporate Social Responsibility)報告書や持続可能性報告書なども含む環境報告書等を対象とする「環境報告書部門」、エコアクション21に基づく環境活動レポートを対象とする「環境活動レポート部門」の2部門です。

環境報告書は、事業活動に伴う環境負荷や環境配慮の状況をステークホルダーに説明するものです。環境配慮経営を効果的に実践するためには、社会からの要請や事業と環境との関連を中長期的な視点で見えていくことが重要です。環境報告書により、事業者が環境配慮経営の考え方や取組を分かりやすくステークホルダーに伝えることで、ステークホルダーからの要請や期待を経営にフィードバックしていくことが可能となります。

これまで以上に長期的な企業価値の向上のためのESG(環境・社会・ガバナンス)情報等の開示が求められるようになってきた今日、これまで以上に多様な立場の専門家による審査を実現するとともに、優れた報告書のトレンドをまとめたフィードバックを全応募事業者に行うことで、応募事業者の環境コミュニケーションの質の向上に取り組めます。

3.表彰の実施にあたって

今回の環境コミュニケーション大賞は、2015年10月8日から2015年11月13日にかけて募集を行い、環境報告書部門195点、環境活動レポート部門107点、あわせて302点の応募がありました。審査の結果、以下の賞がそれぞれ決定しました。

[環境報告書部門]

環境報告書部門 76点	環境報告大賞(環境大臣賞)	1点
	持続可能性報告大賞(環境大臣賞)	1点
	地球温暖化対策報告大賞(環境大臣賞)	1点
	環境報告優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	2点
	持続可能性報告優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	2点
	地球温暖化対策報告優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	1点
	生物多様性報告特別優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	1点
	信頼性報告特別優秀賞(サステナビリティ情報審査協会会長賞)	1点
	審査委員会特別優秀賞(第19回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)	3点
	環境配慮促進法特定事業者賞 (第19回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)	4点
	優良賞(第19回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)	59点

[環境活動レポート部門]

環境活動レポート部門 22点	大賞(環境大臣賞)	1点
	優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	4点
	優良賞(第19回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)	17点

3.表彰の実施にあたって

[環境報告書部門] について

環境報告書部門では、環境報告書部門ワーキンググループ委員会による一次選考、審査委員会による二次選考を経て、受賞作を決定いたしました。

今年度は昨年度と同じく、「環境報告大賞」、「持続可能性報告大賞」、「地球温暖化対策報告大賞」と、大賞に次いで「環境報告」、「持続可能性報告」、「地球温暖化対策報告」に関する記述について優れた報告書を「環境報告優秀賞」、「持続可能性報告優秀賞」、「地球温暖化対策報告優秀賞」として表彰します。その他にも、「生物多様性」「信頼性」に関する記述に優れた報告書については、「生物多様性報告特別優秀賞」「信頼性報告特別優秀賞」として表彰するほか、新しい国際的な枠組みに対し積極的に取り組んでいる報告書を「審査委員会特別優秀賞」として表彰を行います。

環境配慮経営を意欲的に取り組んでいる事業者の報告書や、分かりやすい情報の開示がなされている報告書など、他の模範としてふさわしい情報の開示を進めている報告書を「優良賞」として表彰します。

[環境活動レポート部門] について

環境活動レポート部門では、環境報告書部門と同様に、環境活動レポート部門ワーキンググループ委員会による一次選考、審査委員会による二次選考を経て、受賞作を決定いたしました。環境報告書部門と同じく、「大賞」「優秀賞」に加え、同業他社や同等の事業規模の事業者間で模範となる優良な環境活動レポートを、環境報告書部門と同様に「優良賞」として表彰します。

4.受賞一覧

環境報告書部門

環境報告大賞	(環境大臣賞)	
イオン株式会社	イオン環境・社会報告書 2015(web/pdf 版) イオンの環境・社会への取り組み 2015(冊子版)	
持続可能性報告大賞	(環境大臣賞)	
大成建設株式会社	TAISEI CORPORATE REPORT 2015	
地球温暖化対策報告大賞	(環境大臣賞)	
コニカミノルタ株式会社	コニカミノルタ CSR レポート 2015(日・英・中・独・仏語版) コニカミノルタ 環境報告書 2015(日・英語版)	
環境報告優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	
キリンホールディングス株式会社	キリングroup 環境報告書 2015	
大和ハウス工業株式会社	大和ハウスgroup 環境報告書 2015 ～「環境」との共創共生～	
持続可能性報告優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	
味の素株式会社	味の素group サステナビリティレポート 2015(フルレポート)	
本田技研工業株式会社	Honda SUSTAINABILITY REPORT 2015 Honda 環境年次レポート 2015 日本	
地球温暖化対策報告優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	
株式会社ブリヂストン	ブリヂストンgroup環境報告書 2015	
生物多様性報告特別優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	1 点
日本製紙株式会社	日本製紙group CSR 報告書 2015	
信頼性報告特別優秀賞	(サステナビリティ情報審査協会会長賞)	
住友電気工業株式会社	CSR 報告書 2015	
審査委員会特別優秀賞	(第 19 回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)	
積水ハウス株式会社	Sustainability Report 2015 WEB 版プリントアウト資料	
太平洋セメント株式会社	太平洋セメント株式会社 CSR レポート 2015	
富士ゼロックス株式会社	Sustainability Report 2015	
環境配慮促進法特定事業者賞	(第 19 回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)	
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構	JAXA 社会環境報告書 2015	
国立大学法人岩手大学	国立大学法人岩手大学環境報告書 2015	
国立大学法人千葉大学	千葉大学環境報告書 2015	
国立大学法人三重大学	世界に誇れる「環境先進大学」の社会的責任(USR)を果たすために 環境報告書 2015	

4.受賞一覧

優良賞	
荒川化学工業株式会社	環境・社会報告書 2015
株式会社アレフ	2014 年度 環境報告書
株式会社伊藤園	伊藤園レポート 2015 伊藤園レポート 2015 財務報告 S-book Sustainability Report 2015(特集編/報告編) Communication book 2015 年度 伊藤園 CSR 目標(KPI)・環境目標(2014 年度実績を含む) ガイドライン対照表(GRI,環境ガイドライン、ISO26000)
伊藤忠商事株式会社	CSR レポート 2015
エスペック株式会社	CSR レポート 2015
大阪いずみ市民生活協同組合	CSR レポート 2015 社会的責任報告書(ダイジェスト版・詳細版)
大阪ガス株式会社	大阪ガスグループ CSR レポート 2015
株式会社岡村製作所	株式会社岡村製作所 CSR Report 2015
カゴメ株式会社	カゴメサステナビリティレポート 2014
関西電力株式会社	関西電力グループレポート 2015 環境レポート 2015(WEB)
キヤノン株式会社	Canon Sustainability Report 2015
KDDI 株式会社	統合レポート 2015(ESG 詳細版)
江東区	江東区の環境 平成 26 年度「江東区環境基本計画」実績報告
コクヨ株式会社	コクヨグループ CSR 報告書 2015 (Web 版<詳細版・データ集>、ダイジェスト版)
株式会社小松製作所	環境報告書ダイジェスト 2015
サラヤ株式会社	持続可能性レポート 2015
三洋化成工業株式会社	CSR レポート 2015
シャープ株式会社	シャープ サステナビリティレポート 2015
シャープ株式会社 亀山工場	シャープ亀山工場 環境取り組みのご紹介 2015
シャープ株式会社 三重工場	シャープ三重工場 環境・社会貢献活動情報誌 2015
株式会社商船三井	商船三井グループ 安全・環境・社会報告書 2015 アニュアルレポート 2015
信越化学工業株式会社	環境・社会報告書 2015
信越ポリマー株式会社	環境・社会報告書 2015
住友化学株式会社	住友化学 CSR レポート 2015
住友金属鉱山株式会社	CSR 報告書 2015
セコム株式会社	セコム株式会社 CSR レポート 2015
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	セブン&アイ HLDGS. CSR レポート 2015
損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社	CSR コミュニケーションレポート 2015
ダイキン工業株式会社	ダイキングループ CSR 報告書 2015

株式会社ダイセキ環境ソリューション	環境・社会報告書 2015
大日本印刷株式会社	DNP グループ CSR 報告書 2015 DNP グループ 環境報告書 2015
武田薬品工業株式会社	Annual Report 2015 CSR Data Book 2015
株式会社タムロン	CSR 報告書 2015
株式会社ツムラ	ツムラグループ コーポレートレポート 2015
株式会社ティラド	社会・環境報告書 2015
東京海上ホールディングス株式会社	東京海上グループ サステナビリティレポート 2015
東京ガス株式会社	東京ガスグループ CSR レポート
東京都水道局	東京都水道局 環境報告書 2015 東京都水道局 環境報告書 2015 概要版(日本語版・英語版)
TOTO 株式会社	TOTO 株式会社 Web ページ「環境へのとりくみ」
東洋製罐株式会社	サステナビリティレポート 2015
東レ株式会社	東レグループ CSR レポート 2015
成田国際空港株式会社	成田国際空港 環境報告書 2015 WHAT IS ECOAIRPORT ? (ダイジェスト版)
日本精工株式会社	CSR レポート 2015
日本電信電話株式会社	NTT アニュアルレポート 2015 NTT グループ サステナビリティレポート 2015
日本山村硝子株式会社	Corporate Communication Book 2015
日本郵船株式会社	NYK レポート 2015
パナソニック株式会社	サステナビリティ データブック 2015
ハリマ化成グループ株式会社	環境・社会報告書 2015
株式会社日立製作所	日立グループ サステナビリティレポート 2015 (詳細PDF版・ハイライト版)
ヒューリック株式会社	CSR レポート 2015
富士通株式会社	富士通グループ 環境報告書 2015
富士フイルムホールディングス株式会社	富士フイルムホールディングス サステナビリティレポート 2015
ブラザー工業株式会社	環境への取り組み 環境スペシャルサイト brotherearth.com
三井化学株式会社	三井化学グループ CSR 活動報告 2015
三菱樹脂株式会社 平塚工場	2015 環境報告書 三菱樹脂 平塚工場
みやぎ生活協同組合	2014 年度 環境活動のまとめ
リヴァックスホールディングス株式会社	リヴァックスグループ CSR 報告書 2015
レンゴー株式会社	環境・社会報告書 2015
ローム株式会社	ROHM Group Innovation Report 2015

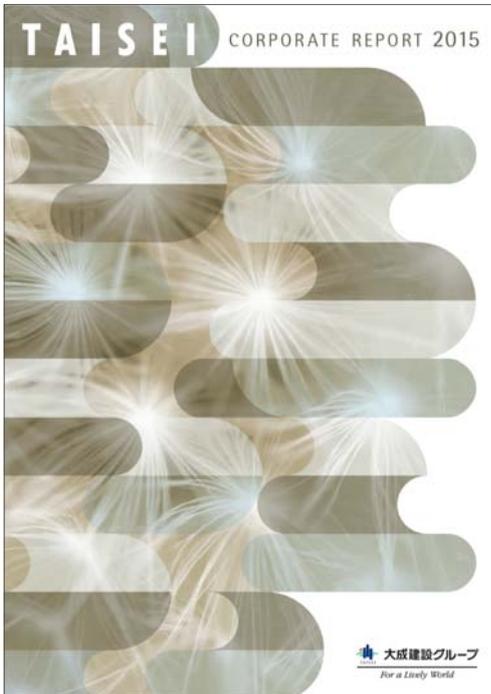
4.受賞一覧

環境活動レポート部門

大賞	(環境大臣賞)
株式会社 GE	環境活動レポート 2015
優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)
国立大学法人鳴門教育大学	エコアクション2.1環境活動レポート
廣間組有限会社	環境活動レポート ～環境への恩返し～
株式会社弥生石油店	エコアクション2.1 環境活動レポート
来ハトム工業株式会社	環境活動レポート 2015 年版
優良賞	
内田工業株式会社	環境活動レポート～2014 年度版～
社会福祉法人恩賜財団 済生会支部大阪府済生会吹田病院	平成 26 年度 さいすい環境活動レポート
株式会社河原工房	株式会社河原工房 2014 年度 環境活動レポート
株式会社環境計画研究所	環境活動レポート
株式会社環境ビジネスエージェンシー	環境活動レポート 2014 年度版
九州林産株式会社	環境活動レポート 2015
光洋電器工業株式会社	エコアクション2.1環境活動レポート 第8版
学校法人郡山開成学園	環境活動レポート 2015 学校法人郡山開成学園
有限会社三立	2014 年度 環境活動レポート
JFE プラリソース株式会社	エコアクション2.1 環境活動レポート 2015
ダイオ化成株式会社	エコアクション2.1 環境活動レポート
東洋冷蔵株式会社	環境活動レポート 2015
株式会社長門屋商店	環境活動レポート 2014 年度版
西岡化建株式会社	2015 年度 環境活動レポート
株式会社林自動車工業	環境活動レポート
福井環境事業株式会社	環境活動レポート 2014 年度
株式会社北陽商会	環境活動レポート「地球と仲良し」Vol.11

大成建設株式会社

TAISEI CORPORATE REPORT 2015



中期経営計画の中で環境に関わる課題と取組が明確に位置づけられ、また環境リスクに関わる 2020 年及び 2050 年の中長期目標を定め、課題の解決に資する技術開発の推進が多数掲げられていること、同社の業態に応じた KPI を設けて取り組んでいることから、環境・社会・経済的側面から同社の持続的発展が期待できる内容となっている。統合思考の片鱗が見えるのも評価できる。

ステークホルダー・ダイアログの回数も充実しており、今後、ネガティブ情報の開示を進めることでさらなる信頼性向上に向けて取り組まれることに期待したい。

TAISEI CORPORATE REPORT 2015

目次

スナップショット

大成建設グループについて
大成建設グループ アフタール
財務・対外的ハイライト P3

経営戦略

トップコメント
社会ニーズに
応える企業グループを
目指して P7

大成建設グループの企業価値
① 大成建設の歩み P11
② 社会的課題の
認識と
成長ストーリー P13
③ 価値創造
プロセス P15

140年歴史してきた歴史を継承しながら、その歴史の中で蓄えた力を未来にどのようにつなごうとし、また持続させていくのか、目標に大成建設グループの価値創造ストーリーをお伝えいたします。

特集 大成建設が切り拓く「次世代」 中期経営計画(2015-2017)の経営課題の一部をご紹介します。

特集1 次世代技術開発の推進
「都市型ZEB」
ゼロエネルギーの達成
2020年 市場への導入を目指す P17

特集2 次世代ビジネスモデルの確立
「注力5分野」
高付加価値型の事業創造
大成建設の優位性を活用、革新化を図る P21

事業概要

土木事業 P23 建築事業 P29 開発事業 P35 グループ会社の取り組み P39

CSR

大成建設グループのCSR P42 環境報告 P49 社会報告 P63 ガバナンス報告 P75

財務・企業情報

経営成績の概説と分析 P85

（関連しに関する特記事項）
本レポートにおいて、掲載された意見や予測等は資料作成時点の状況の判断に基づくものです。そのため、様々な事象の度化により実際の業績報告と異なっている可能性があります。あらかじめご了承ください。

編集方針

本レポートは、ステークホルダーの皆様へ、140年にわたる当社の歴史、大成建設グループのグループ理念やグループ行動指針に沿った企業活動や財務報告、経営課題等、企業価値創造の全体像をご理解いただくことを目的として発行しております。

なお、紙面に掲載していない詳細情報については、大成建設Webサイトに掲載しております。当社はステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを大切なものと考え、様々なツールで情報を発信しております。下記にコミュニケーションツールの構成を記載いたしましたので、必要に応じて併せてご覧ください。

対象範囲
大成建設および主要なグループ会社
参考ガイドライン
● 環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」
● GRI「サステナビリティレポートガイドライン(第4版)」
● ISO26000
(組織の社会的責任に関する国際ガイドライン)
● 国際統合報告評議会議「IR-C」[統合報告フレームワーク]

対象期間
2014年度(2014年4月1日～2015年3月31日)
(一部当該年度以外の内容も掲載しております)
本報告書の第三者の意見
● 『第三者保証報告書』(EY 新日本サステナビリティ) による
第三者保証に関する保証
● 『第三者意見』(早稲田大学 商学学部国際商学専攻 経営学博士 日本業法学会による報告書) に対する意見
発行
2015年8月31日

※ 自社のTAISEI CORPORATE REPORT 2015の内容にあたっては、監査に委嘱した回答を行っています。掲載については、従来よりも約30%増量を実施し、本付録表、巻末エネルギーの削減等につなげています。インキは植物性インキを使用しています。

コミュニケーションツールの構成

Webサイト
企業活動全般：コーポレートサイト
http://www.taisei.co.jp
※ 投資家の皆様へ
http://www.taisei.co.jp/about_us/index.html
CSR活動：CSR(企業の社会的責任)
http://www.taisei.co.jp/about_us/csr/index.html

発行物
有価証券報告書
たいせいサール(事業報告書)
ANNUAL REPORT 2015(英文)
TAISEI CORPORATE REPORT 2015
大成建設技術センター報
コーポレート・ガバナンスに関する報告書

内部機関からの評価
● 世界的な代々のSRIインデックスへ
組み込まれています。
● 植物性インキと環境配慮型紙を使用し、
リサイクルされています。
● 植物性インキと環境配慮型紙を使用し、
リサイクルされています。

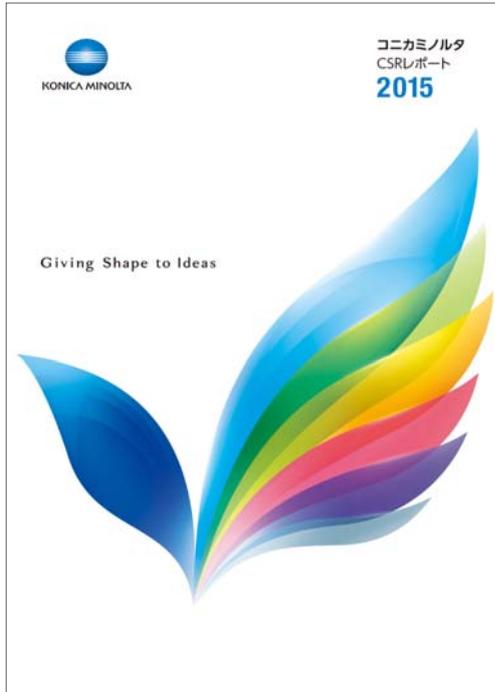
FTSE4Good MS-SRI CDP

TAISEI CORPORATE REPORT 2015 1 TAISEI CORPORATE REPORT 2015 2

地球温暖化対策報告大賞（環境大臣賞）

コニカミノルタ株式会社 コニカミノルタ CSR レポート 2015(日・英・中・独・仏語版)

コニカミノルタ 環境報告書 2015(日・英語版)



CSR レポートは、日・英・中・独・仏の 5 言語で制作されており、国際的な広報ツールとして積極的に情報開示している。また、CSR レポートから独立した形で環境報告書の制作し、ビジョン、方針、省エネルギー・温暖化防止、省資源・リサイクル、化学物質管理、生物多様性への対応に向けたより詳細な取組を分かり易く記述している。なかでも、地球温暖化防止対策への取組として、長期目標である 2050 年の CO₂ 削減目標(2005 年比 80%減) に対する中期目標(2016 年 40%減)の達成状況などが開示され取組状況がよく理解できる。

化学物質管理についても、EU の RoHS 規制や、製品への含有化学物質情報の把握、公表の取組がよく理解できる。拠点別環境データの公開等により多くの情報が提供されている。

トップコミットメント

社会課題の解決と企業としての成長を両立し、「新しい価値」を創造していく

コニカミノルタが目指す価値創造

企業価値とは、株主価値と社会的価値の掛け算であり、その社会的価値には、CSR経営と事業そのものの社会的意義の2つがあると考えています。コニカミノルタの経営ビジョン「グローバル社会から支持され、必要とされる企業」を実現するには社会的価値を高めなければならないというのが、経営者としての信念です。

コニカミノルタは発足以来、「新しい価値の創造」という経営理念のもとに成長を続けてきましたが、これから50年先、100年先まで持続的な成長を実現していくためには、経済的な価値の創造だけでなく、社会に貢献することが不可欠です。つまり、お客様が求める製品・サービスを提供し、その対価として得られた利益を株主や従業員に還元すると同時に、地球環境の保全や社会的な課題解決への貢献といった社会的役割を果たしていく必要があります。

コニカミノルタがグローバルに展開するビジネスは、いずれも製品・サービスの革新を通じて、直接のお客様はもちろん、広く社会に新たな価値を提供することを目指しています。多様な課題に対して技術革新や事業革新を通じて解決策を提案し、新たな価値を創造していくことこそ、コニカミノルタの成長戦略です。

こうした考えのもと、2014年度からスタートした中期経営計画「TRANSFORM 2016」では、お客様、そして社会の課題をしっかりと見つめ、私たちの技術やノウハウを活かして課題解決に専与することで、社会の向上に貢献する「価値」を創出していくことを目指しています。

地球規模の課題、環境問題の解決への貢献

近年、国際社会は経済格差や紛争、貧困や飢饉など、さまざまな課題を抱えています。とりわけ地球温暖化問題は緊

急な課題であり、環境負荷を抑制して持続可能な社会づくりを実現するうえで、グローバル企業が大きな責任を負っていることを、経営者として常に意識しています。コニカミノルタが製品ライフサイクルにおけるCO₂排出量を2005年比で80%削減するという長期環境ビジョン「エコビジョン2050」を策定し取り組みを進めているのも、その決意の表れです。

コニカミノルタは、製品開発から調達、生産、物流、販売・サービス、回収・リサイクルまですべての事業プロセスで環境負荷削減を目指しながら、その取り組みを企業としての成長と同歩させ、社会的にも経済的にも新たな価値を創造していくことを環境経営の柱としています。そしてこれを実現していくには、技術革新と事業革新の2つの持続的な挑戦が必要だと考えています。

コニカミノルタの技術革新を推進するのには長期的な見通しが必要です。非常に高いエネルギー効率に加え、薄く軽くなけられ、ため用途の自由度も高く、これまでにない新しい照明を創造できると考えています。主力事業の情報機器事業においては、必要な時に必要な量だけ出力できるデジタル印刷システムの普及により、余分な印刷と廃棄を抑えて環境負荷の低減に貢献するというビジネスモデルの変革に取り組んでいます。また、稼働においても、印刷手法をインクジェットに置き換えることでCO₂排出量を大幅に削減するなど環境負荷低減に大きく貢献しています。社会やお客様が求めるものを、技術の力でかたちにすることで、地球温暖化への貢献を果たしていきます。

グローバル社会から支持され、必要とされる会社へ

コニカミノルタは現在、世界50か国に拠点をもち、4万人以上の従業員がコニカミノルタグループを築いて



事業を展開しています。こうしたグローバル企業としての役割の大きさを認識し、「さまざまなグローバル」への対応を通じて、人権・労働・環境・倫理などの幅広い課題でも社会的責任をしっかりと果たし、透明性を確保してまいります。

リプライゼーションにおける人権など社会的な課題に対しては、各取引先とともに「CSR連携」を推進しています。自らが価値のある企業となることはもとより、各取引先にも基本的人権の尊重や労働法などの改善に協力いただき、ともに社会課題の解決に取り組んでいます。加えて、特に注目される人権侵害を防止するため、附随経路への対応を強化しています。

こうした姿勢や取り組みにより、コニカミノルタグループは、50か国規模の環境報告を提出されるほか、CSR協会

への寄付でも高い評価を受けています。

「グループ4人の知恵とノウハウを結集することにより、どのような社会や課題の解決にも対応できるかを見定め、成長戦略を描いていくことが、経営者としての私の使命であり、グローバル企業のあるべき姿だと考えています。」

「グローバル社会から支持され、必要とされる企業」として、さらなる成長を目標として、コニカミノルタ、どうぞご期待ください。

コニカミノルタ株式会社
代表取締役会長
山名昌衛

5. 受賞作品講評

環境報告優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

キリンホールディングス株式会社

キリングroup 環境報告書 2015

自社にとっての重要課題が特定され、2050年に向けた長期的なビジョンが示されている点は大いに評価できる。長期環境ビジョンにおける到達目標とリスク・機会認識の明示、それに沿った報告という構成は読みやすく、よくまとまっている。

本業に密接な、4つの重点的領域の「生物資源」「水資源」「容器包装」「地球温暖化」における取組は、内容が豊富かつ詳細で見事な報告である。資料集も付けられており定量情報も豊富である。長期目標という方向性のコミットの後には、達成に向けてのロードマップを期待したい。

大和ハウス工業株式会社 大和ハウスgroup 環境報告書 2015 ～「環境」との共創共生～

環境中期ビジョンを定め、それに基づく活動を全社の全事業において展開し、環境ビジョン、環境中期計画を明確にし、それを検証するための独自の指標の設定を行い、活動を実施している。また、環境に関するサプライチェーンマネジメントやリスクマネジメントを明確に開示し、バリューチェーンにおけるCO₂排出量の開示など、取組の広がりを感じる。

環境データの範囲や集計の方針も明確に示されているが、事業が多岐にわたるために少し説明があればなおよい。また取り巻く世界の状況が激変しているため、長期の方向性についても公表を期待したい。

持続可能性報告優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

味の素株式会社 味の素グループ サステナビリティレポート 2015(フルレポート)

ステークホルダーの意見も踏まえたマテリアリティ特定をベースに、ASV(Ajinomoto Group Shared Value)を表明している。

重要な社会課題に対する自社ならではの解決アプローチを提示した特集の構成が、本報告のポイントを成している。その後続く7つの中核主題別の取組も豊富で、実績を交えて非常にわかりやすく報告されている。

ただし、期限を限ったビジョンや中長期の数値目標設定は、一部環境面で2020年目標があるものの、それ以外について目標設定がなく、課題認識と3カ年の中期計画で定性的な達成像を設定する段階に留まっている。持続可能な社会構築にむけて、長期の方向性についてのコミットを期待したい。

本田技研工業株式会社

Honda SUSTAINABILITY REPORT 2015

Honda 環境年次レポート 2015 日本

2050年に向けたトップマネジメントのコミットメントを含み、かつグローバルなCSRマネジメントの実践が報告されており、グローバル企業のサステナビリティレポートとして相応しい内容・レベルの報告書である。

非常に豊富な人材開発関連データに加え、環境に関しては環境レポートを発行しており、CSRの重要課題についてデータに基づく質の高い報告に挑戦している点が高く評価できる。

パリ協定を先取りしたようなコミットメントは素晴らしく、文明の方向性転換のトップランナーであり続けてもらいたい。

地球温暖化対策報告優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

株式会社ブリヂストン

ブリヂストングループ環境報告書 2015

世界最大のタイヤ・ゴム会社として、自社の地球温暖化への影響をきちんと理解しており、2020年の環境中期目標のみならず、2050年までの長期目標を設定や考え方までも示し、低炭素社会への貢献に努めていることが理解できるレポートになっている。

主力製品であるタイヤに関しては、ライフサイクルにおける各段階の温室効果ガス排出量を特定し、排出量が一番大きい使用時での削減を促進する技術・製品開発に注力しており、外部からも高い評価を獲得するなど、業界をけん引する存在であることがうかがえる。

環境に関する中長期目標に生物多様性に関する取組を設定しており、中期目標については具体的な数値目標も掲げているなど同社のコミットメントの強さが感じられた。

5. 受賞作品講評

生物多様性報告特別優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

日本製紙株式会社

日本製紙グループ CSR 報告書 2015

グループ環境憲章の冒頭理念にあるように、3次元の生物多様性に配慮した企業活動を基本とする同社では、全社的な原材料といえる木材調達場面での、本課題へのグローバルかつ先駆的な取組があることが強調されている。国内社有林の約2割を「環境林分」に指定して保全を行い、海外でも地域生態系に配慮した植林事業等を進めるなど、森林に生息する動植物のケアや調査に多くの実績が認められる。

今後は、2015年に世界の状況は激変したので、中長期のゴール設定を期待したい。

信頼性報告特別優秀賞（サステナビリティ情報審査協会会長賞）

住友電気工業株式会社

CSR 報告書 2015

社会に価値を提供し続けるために設定された重点テーマは将来性が読み取れる内容となっており、かつ取組内容の開示が充実している。銅を基盤とした事業分野が分かり易く解説されており、重点分野別の開示も分かり易い。

GRI 対照表はウェブにあるので問題ないが、冊子とウェブをどう組み合わせるかは永遠の課題なので今後とも不断の工夫をこらされたい。また、2015年に取り巻く環境が激変しているので中長期のゴール設定を期待したい。

審査委員会特別優秀賞（第19回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞）

積水ハウス株式会社

Sustainability Report 2015

WEB版プリントアウト資料

CSR マテリアリティを特定し、それを事業戦略と関係付けた CSV 戦略を策定し展開している。報告形式も統合報告を意識した構成となっており、全般に自社特有の課題が CSV 戦略として特定・対応を行っている。内容が充実しているため「CSVs」へのシフトを今後大いに期待する。自社の CSR 課題を的確に捉え積極的に取り組んでいる姿勢がうかがえる。

一方で、多くの協力会社との関係がある業種なのでサプライチェーンへの展開についての情報開示を多く行うとなおよい。

2015 年取り巻く環境が大激変したので、エコファースト企業のリーダーとして、中長期のゴール見直しを期待したい。

太平洋セメント株式会社

太平洋セメント株式会社 CSR レポート 2015

報告書の出発点である本業のセメント製造業について、数値、当該業種が受けている法規をはじめ、同業者間のルールも含めきわめて平易に記述されている。そのうえで、バリューチェーンの各場面でどのような環境負荷が生じているのかが一瞥できる。そして、取り組むべき重要課題を、場面ごとに抽出して明示している。12 ページに記載されている「太平洋セメントグループの重要課題とアプローチ」は秀逸であり、今後他社の手本になる。しかも、重要性の優先順位付けについて、決定のしくみ、確認・検討の過程を丁寧に明示している。

読み手が知りたい点を優先し、表示しており表紙の裏面に折込みで「ダッシュボード」ページをつくり、死亡災害件数、休業災害度数率、CO₂排出原単位削減率及びその 2025 年目標、女性従業員比率及びその 2025 年目標、男女別従業員数などを堂々と表示している。報告者の真摯な姿勢が伝わってくる。

富士ゼロックス株式会社

Sustainability Report 2015

本報告書では、当社が掲げる「CSR は経営そのもの」とする姿勢、さらに「バリューチェーン全体において事業プロセスを通じて地球環境を含む 6 つのステークホルダーへの価値提供を推進」といった方針を具現化させるための取組等が、各章の記載の細部にしっかりと盛り込まれている。

本報告書の読み手は、財務情報との対比により、当社の中長期的な事業戦略や、価値創造のイメージを描くことができ、そのような意味での統合的思考により制作された報告書として高く評価できる。

5. 受賞作品講評

環境配慮促進法特定事業者賞（第19回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞）

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

JAXA 社会環境報告書 2015

「宇宙と空を活かし地球規模の問題と世界の発展への貢献を目指す」とトップコミットメントで述べられ、それに基づき広い視野から報告書を発行したことがうかがえる。環境と社会的責任に関して目標や方策・取組状況等をコンパクトにまとめ具体的に報告している。

また、顔の見える報告なども含め、読者層を意識した読みやすい工夫が随所に盛り込まれている。多くの特定事業者に参考にしてもらいたい報告書である。

国立大学法人岩手大学

国立大学法人岩手大学環境報告書 2015

環境報告書を「作成」するのではなく、「環境報告書作成＝環境教育」という取組であり、大学の作成する報告書にふさわしいものとなっている。

第6回エコ大学ランキングで5つ星エコ大学に認定された大学である。環境マネジメントを8つのワーキンググループに分けて、重要課題に取り組んでいる。学内の環境負荷低減の取組はもちろんだが、環境教育・環境人材教育に力を入れていることは評価できる。

総エネルギー投入量や温室効果ガス等の排出量等の削減が進んでいないように見える。継続した取組と、抜本的な対策を検討いただき、さらなる取組の効果を期待したい。

国立大学法人千葉大学

千葉大学環境報告書 2015

ISO14001 取得から10年が経過し、PDCAをまわす仕組、そして環境への強い意識が定着している様子が報告書から伝わってくる。学生や関連事業者等のステークホルダーとの取組も充実して紹介されている。おそらく国内で最も学生が主体となって作成されている報告書の一つであるが、報告すべき項目を丁寧におさえ、さらに毎年掲載内容の検討を重ねている様子がうかがえる。

2015年、文明のベクトルが方向転換したことを今後どのように反映させていくのか大いに期待したい。

国立大学法人三重大学

世界に誇れる「環境先進大学」の社会的責任(USR)を果たすために 環境報告書 2015

報告書のタイトルに『世界に誇れる「環境先進大学」』を掲げている通り、教職員・学生全体で環境活動に取り組んでいる様子が目に浮かぶ報告書である。

新学長の「環境の文化が根付く大学」のメッセージのもと、省エネ活動もハード面・ソフト面双方を駆使し、毎年着実に削減していることは評価できる。環境マネジメントシステムについては、しっかりとページを割いて紹介しており、環境先進大学を着実に進めるシステム構築のあり方が分かりやすい。

優良賞

荒川化学工業株式会社

環境・社会報告書 2015

トップメッセージの経営環境認識からは重要な経営課題が何であるかが明確に伝わり、2020 年を達成目処とする 6 項目の長期方針のもと、環境保安目標を策定し、具体的な目標と実績が記されている。実際に関係する社員の声を「VOICE」という欄で拾っているのも好感が持てる。

化学業界の環境・安全に関しては「リスク管理」が主であることは承知の上であり、欲を言えば「技術の軸」において「スピード感」のある経営がどう行われ、環境イノベーションが成長につながっているかの展望を期待したい。

株式会社アレフ

2014 年度 環境報告書

全体的にコンパクトで読みやすく、わかりやすい報告書となっている。特に、報告書の基礎的項目や環境パフォーマンスに関する項目については、各種数値もわかりやすく丁寧な記載となっている。

「えこりん村の子どもたち」のプログラム自体が従業員の環境教育となり、ESD 環境教育モデルプログラムに選ばれるなど、取組のレベルの高さをうかがえる。

一方、全社的な環境保全の推進体制や、環境に関するマイナスの情報等についてしっかりと記載があれば、さらによい内容となる。

株式会社伊藤園

伊藤園レポート 2015

伊藤園レポート 2015 財務報告

S-book Sustainability Report 2015(特集編/報告編)

Communication book

2015 年度 伊藤園 CSR 目標(KPI)・環境目標(2014 年度実績を含む)

ガイドライン対照表(GRI,環境ガイドライン、ISO26000)

ISO26000 の中核主題から重点テーマを特定するとともに、価値創造モデルが示され、競争戦略とともに示されるなど、読み応えのある内容となっている。

環境報告の部分は情報量が少ないながら、設定された「CSR 目標」の「環境」目標に対応してコンパクトにまとめられている。一方、冊子が複数に分かれていることに起因してか、「3つの CSR 目標」の一つである「環境にやさしい企業」として設定されている「バリューチェーンを活かします」「自然を守ります」「『お茶で日本を美しく。』します」との関係性については少し分かり辛いので、今後の工夫を期待したい。

5. 受賞作品講評

伊藤忠商事株式会社

CSR レポート 2015

本報告書は CSR 報告書の名の通り、持続可能な社会の実現に向けた、企業としての社会的責任について重視した内容となっている。GRI ガイドライン(G4)に基づき、ガバナンスや、社会的側面(人権、労働慣行等)についての記述が充実している。経営理念について丁寧に記している点や 6 つの社内カンパニーそれぞれの CSR についてページを割いている点も評価できる。マテリアリティ選定プロセスや第三者保証についての記述も申し分ない。さらに、CSR デューデリジェンスについても、明確な記述がある。

環境的側面についてのもう一步踏み込んだ記述が望まれる。

エスペック株式会社

CSR レポート 2015

CSR 課題全般をコンパクトに網羅しながら、その記載内容から読者は事業内容、現況から将来のビジョンまで理解することが可能である。

環境への取組では、具体的数値目標を各項目に設定し開示するなど、環境報告書としての要件も適切に充足しており、バランスの取れたレポートとなっている。

大阪いずみ市民生活協同組合

CSR レポート 2015 社会的責任報告書(ダイジェスト版・詳細版)

社会的責任報告書、詳細版、事業政策集という 3 つのレポートが作成されており、環境報告に対する熱意を感じる。ただし、外部の者には内容把握に時間を要するので、作成目的、活用方法等を明確にされることが望ましい。

内容的には環境報告の基本的事項について網羅され、特にバリューチェーンと環境配慮経営関連(環境会計、組織統治、消費者保護等)の記載が充実している。

従業員教育・人権・労働慣行、水資源、生物多様性、投融資等についても記載されることを期待したい。

大阪ガス株式会社

大阪ガスグループ CSR レポート 2015

CSR レポートのため、環境に関する情報量は一定の制約をうけるものの、マテリアリティの特定は的確であり、その内容を 50 ページの本レポートに凝縮してとりまとめている。そして、その他の情報はウェブサイトで見分けて報告する方針であることが、冒頭の編集方針で明記されている。

「都市ガスバリューチェーンが社会に与える影響と CSR の取り組み」の「採掘」では、「周辺地域の生物多様性」及び「調達先従業員の労働安全衛生、人権」等も意識されている。CSR の KPI 指標も設定・公開されているが、その中の 2014 年度実績「ご不満や苦情の各々に対応」の記載については、宝の山なので記述の工夫を期待したい。

株式会社岡村製作所

株式会社岡村製作所 CSR Report 2015

2014年に改訂された「オカムラグループ CSR 方針」の内容は人権尊重、公正活動、環境配慮等を掲げ、内容はグローバル企業にふさわしい内容になっており、従業員に「行動規範」のハンドブックも配布しており、グループ一体での取組を強力に推進している。

「よりよい職場づくり」の項では、労使協議会・委員会の開催頻度も開示したうえで職場環境改善の実体を開示しており、ダイバーシティ、ことに女性採用、ワークライフバランスの取組にも積極的に取り組んでおり、労働安全衛生、健康維持についての取組も具体的に開示している。

地球環境保全についての取組も、長期ビジョンと環境中期計画で示されており、目標値、実績が末尾に折り込まれた3枚のA3のページにて極めて明瞭に示されており、環境報告の面でもクオリティが高い。

カゴメ株式会社

カゴメサステナビリティレポート 2014

社会課題と自社事業との関係、価値創造などの目線を加えて記載されたカゴメとしてのサステナビリティに関する特集の内容は、課題認識とともに、生み出す経済価値と社会価値からも記載されており、当該企業の特性が反映された、一定の評価に値する内容となっている。「価値創造基盤」として整理された各種資本と事業活動等との関係や、そこから生み出される経済的価値、ステークホルダー価値などのモデル図もわかりやすい。

一方で、個別の課題テーマについての記載はもう少し特徴的なことや顔の見える記載を期待したい。また、環境実績等については実績評価などについてより詳細に記載されることが望まれる。

関西電力株式会社

関西電カグループレポート 2015

環境レポート 2015(WEB)

統合報告書を志向しているが、環境報告書としての網羅性に関しての問題は無く、情報を真摯に公開しようとしている姿勢が十分にうかがえる。「関西電カグループのサプライチェーンと取組みの方向性」では、「サプライチェーン上の課題」、「考慮すべき主なリスク」、そして「主な取組みの方向性」が理路整然と整理されている。

しかし、一般の顧客が本報告書を読むことを想定すると、安全性に関する技術的な内容は充実しているものの難解であり、それらをいかにわかりやすく伝えるのが課題と言える。

5. 受賞作品講評

キヤノン株式会社

Canon Sustainability Report 2015

サステナビリティレポートとして CSR についての内容が充実している。「共生」をテーマに CSR を長期にわたり継続しているのは素晴らしい。顧客の安全安心を考えることは大変よいと思うが、自社のデータで悪くなっている箇所の説明が欲しいところである。「知的財産活動」、「セキュリティ」を記入したのは大変よい。また、第三者評価でも審査機関のコメントを入れたことに信頼感がもてる。

今後はサプライチェーンに関する記述の充実を期待したい。また、取り巻く環境が激変しているので、中長期のゴールを期待したいところである。

KDDI 株式会社

統合レポート 2015 (ESG 詳細版)

統合レポートとして、ESG 情報を網羅的に記載することに積極的に取り組んでいることは高く評価できる。バリューチェーンでの CSR 活動を意識し、グループでの取組も熱心である。重要課題を設定し、KPI での目標管理を行っており、企業の姿勢が明確である。「インクルージョン」への意識もあり今後の取組が期待できる。

また、スコープ 3 の温室効果ガス排出量については検証を受けており、把握、分析、削減への努力をしている。

江東区

江東区の環境 平成 26 年度「江東区環境基本計画」実績報告

地球温暖化対策の施策を「KOTO 低炭素プラン」として整理統合し、具体的な行動計画としたことは、持続可能な社会構築に向けた行政としての責任と意識の高さが感じられる。また、話題性があり、区民生活に密着したことからを「環境トピックス」として巻頭にまとめられていることが読者の興味を誘う。

具体的な環境活動の情報が網羅的に記載されており情報量も多いが、レイアウトが工夫されているため読みやすい報告書となっている。

コクヨ株式会社

コクヨグループ CSR 報告書 2015

(Web 版<詳細版・データ集>、ダイジェスト版)

独自の環境ラベルである「エコバツマーク」は、その基準を満たす為に、自社内のみならずサプライヤーと協働で製品・サービスの改善を図る取組となっている。また調達基本方針及びガイドラインの調達先への配布や協力工場の監査、消費者との密な対話等を通じて VCM が盛んに行われていることが読み取れる。ただ、環境の 2020 年目標を除き、中長期の CSR 目標が設定されていないので、今後の掲載を期待したい。

今後は、グループ一体となった事業戦略と CSR 活動の融合が期待される。またマテリアリティの概念への考慮も読み取れないので、こちらも期待したい。

株式会社小松製作所

環境報告書ダイジェスト 2015

事業を通じた環境活動が、図解を上手く活用しながら分かりやすく説明されている点は環境報告書としてよく出来ており、国内のサイトデータの詳細な開示も高評価に繋がっている。CO₂の削減など環境パフォーマンスに関して中長期目標を設定している点はよいが、その目標数値を設定した根拠や目標達成に向けた施策やプロセスについても詳細な情報が開示され、また、それらの目標が達成されることで事業活動にどのような影響があるのかも分かると、利用範囲の広い報告書になると思われる。

また、トップメッセージとして環境担当である専務執行役員のメッセージとなっているが、それだけでなく、社長やCEOといった企業のトップの環境に対するコミットメントも開示されることが望ましい。

サラヤ株式会社

持続可能性レポート 2015

ビジネスと生物多様性イニシアティブリーダーシップ宣言に取り組んでいること、またヤシノミ洗剤やハッピーエレファントシリーズの商品売り上げの1%でNGO ボルネオ保全トラストの支援を行っていることが記されており、生物多様性への取組が報告書より読み取れる。小さなグローバル企業として多彩な活動の記載もすばらしい。なおボルネオ保全トラストジャパンは、事務所が東京サラヤ内にある。

コンパクトながら情報も豊富でよくできた作品である。あえて言えば「従業員」に関してもう少し記述があってもよい。

三洋化成工業株式会社

CSR レポート 2015

特集『『はたらき』を化学する』において、環境ニーズに応える自社のパフォーマンス・ケミカル製品群やLCAの視点からCO₂削減貢献製品を紹介している点はユニークである。トップメッセージからグローバル市場での積極的姿勢が見受けられ、実態的に組織が拡大するに伴いグローバル環境目標を導入するなど、変化や戦略に応じた経営対応の努力が見られる点も評価したい。環境経営指標の一つにJEPICXを取り入れており継続的改善もしている。

スコープ3排出量を試行的に算定しており、この結果に基づく今後の取組成果の報告が期待される。また、本報告書は対象範囲が分かれているので、連結対象への範囲拡大についても今後期待したい。

シャープ株式会社

シャープ サステナビリティレポート 2015

報告書としてよくまとまっており、担当部署のがんばりが伝わる内容となっている。経営再生を図っている事は読み取れるが、もう少し先を見据えた中長期のビジョンが欲しい。また、主製品であるテレビについての記載の充実も望まれる。また人を中心としたCSRを推進することについて、従業員教育についての記載もほしい。

サプライチェーンもダイバーシティについても充実しているが、グラフなどを利用して詳細な説明を行うなど、見やすさと内容を両立するなどのさらなる工夫に期待したい。

5. 受賞作品講評

シャープ株式会社 亀山工場

シャープ亀山工場 環境取り組みのご紹介 2015

報告書冒頭の特集では、省エネ大賞受賞事例と、生物多様性取組の事例が紹介されており、読み応えがある。その後の環境活動に関しては、環境方針に基づいて詳細な記述が続き、網羅性に関しても問題はない。

亀山市との座談会及び地域ステークホルダーとの懇談会の内容にとどまらず、市長、周辺住民、及び地元行政担当者からのコメントも個別に記載し、外部コミュニケーションも活発である。

しかし、情報量が多く、かつ専門的な記載内容も散見される。周辺住民のコメントにもあるとおり、読者として一般的な周辺住民を想定すると、読みやすさに関してはさらなる工夫が望まれる。

シャープ株式会社 三重工場

シャープ三重工場 環境・社会貢献活動情報誌 2015

編集方針で、「まちの情報誌」、「雑誌風の作り」を目指していることを明記し、その方針のもと住民目線で作成された、読みやすく、かつ親しみやすい報告書である。それでありながら、網羅性に問題はなく、技術的な内容も平易に伝えようとしている姿勢も十分に窺われる。

その他にも、地域の様々なステークホルダーが顔写真入りでコメントを寄せ多数登場していること、地域の生物多様性に関する様々な環境保全活動を継続していること、そして取引先(バリューチェーン)に対しても積極的に環境監査を実施し働き掛けをしている点等も評価できる。

株式会社商船三井

商船三井グループ 安全・環境・社会報告書 2015

アニュアルレポート 2015

重要課題認識が明示されている点、また目標の体系化が図られている点について大いに評価でき、環境負荷低減技術に関する記載も充実している。コンプライアンス体制に関する内容についても大変充実しており、アニュアルレポートで統合思考の試みをしている事も評価できる。

一方で、CSR 目標、環境目標ともに 2020 年を超え、さらなる中長期の視点での記載の充実を期待したい。

信越化学工業株式会社

環境・社会報告書 2015

「改訂版国連グローバル・コンパクト」、「レスポンシブル・ケア世界憲章」の原則にも沿った環境等の活動がバランスよく、分かりやすく述べられている。環境への取組において、PDC についての記述はあるが、Action にまで踏み込むとさらによくなると思われる。ただ、これだけの巨大会社なのでウェブとの併用で情報量を増やすことも期待したい。

技術・原料・製品チャートはユニークである。さらに外縁には市場(顧客や社会)があるのではないかと。事業セグメントとのつながりや、さらに先の価値提供先、社会課題解決先まで見ると分かりやすい。また、製品の客先環境効果についても深掘りをして、事業成長性との関係性を表現されることが望まれる。

信越ポリマー株式会社

環境・社会報告書 2015

グループが掲げている目標、トップのメッセージ、コミットメントが明瞭であり、しかもその詳細について参照すべきページを付記しており、容易に理解できる。グループ内では、グリーン運動と称して環境保全、環境経営に組織的に取り組んでおり、同運動の一環たる第4次中期目標 2014 年度実績では、CO₂削減はじめ各目標、実績、達成度合い、2015 年度の課題が明瞭に示されている。調達環境配慮・貢献製品を認定しているが、その認定基準は緻密に作りこまれており、製作者の熱意が伝わってくる

住友化学株式会社

住友化学 CSR レポート 2015

開業 100 年の節目に振り返りを行い、「技術を基盤にした新しい価値の創造」「化学の力によるエネルギー、環境、食糧問題等の世界規模課題の解決」を経営ビジョンに掲げ、自動車や農業、薄膜太陽電池などの重点事業における自社の強みや展望を明確に伝えようとしている。化学業界の基本である RC を確保した上で、さらに技術力を活かした世界や日本の社会環境課題解決への貢献が期待される。次の 100 年ビジョンと 2050 年ゴールも期待したい。

JEPiX の活用や MFCA の試行などパフォーマンス評価にも積極的に取り組んでいるが、単体も多く、連結での評価の考え方が気になるところ。

住友金属鉱山株式会社

CSR 報告書 2015

主要財務・非財務指標、ビジネスモデル、2020 年に向けたグループの重点課題とありたい姿などが報告されており、CSR 報告書ではあるが、内容的には統合報告を見据えた報告書となっている。今後も、これまでと同様に積極的な CSR 情報の開示だけでなく、統合報告を活用した様々なステークホルダーとのよりよいコミュニケーションづくりを期待したい。

また事業の特性を踏まえたサステナビリティの課題に焦点が当てられており、報告書としてのボリュームはあまり大きくないが、重要な報告事項がコンパクトにまとめられている点が評価できる。

セコム株式会社

セコム株式会社 CSR レポート 2015

自社事業と環境のかかわりを分かりやすい図で表現したことや、株主総会でのグリーン電力使用、スコープ 3 の試み、事業特性に対応した 2020 年目標の「くるまのエコ」は高く評価できる。また、詳細な ESG データを開示していることやセコム企業年金基金の ESG 投資の取組は興味深い。今後は中長期のゴール公表も期待したい。

しかし、事業のグローバル化を進める中で、報告のバウンダリーは国内中心であるため、開示の拡大を工夫するとさらに充実した報告書となると思われる。

5. 受賞作品講評

株式会社セブン&アイ・ホールディングス

セブン&アイ HLDGS. CSR レポート 2015

とても読みやすくわかりやすい報告書である。環境報告書の基本的事項について網羅され、特に環境配慮経営における社会的側面の項目(組織統治、人権、労働慣行、消費者保護、地域・社会貢献等)に関する記載は秀逸である。

一方で、総エネルギー投入量、温室効果ガス排出量等の個別指標や環境会計などの数値的な提示については、中長期的目標や複数年計画等も明確に記載されていることが望ましい。また、投融資についても明確な記載がなされることが期待される。

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社

CSR コミュニケーションレポート 2015

統合報告への途上であるが、分かりやすい紙面構成である。トップコミットメントではSDGsに言及され、サステナビリティの認識が強いことは高く評価できる。マテリアリティ報告書であるため、環境をはじめとするESGの考え方や戦略目標も分かりやすく、取組も一貫性や整合性が感じられる。

しかし、特に自社活動プロセスにおける環境負荷がデータだけとなっており、実際の取組状況が伝わりにくいため、表現の工夫に期待する。

ダイキン工業株式会社

ダイキングループ CSR 報告書 2015

ISO26000 や GRI ガイドラインに沿って網羅的に作成されており、分かりやすく編集されている。全体的には、写真や図表を効果的、ビジュアルに配置され、内容も平易に記述されており、読みやすく編集されている。

しかし課題も多く、例えば、回収フロン再生・循環使用についての情報がよく分からない。また、低温暖化冷媒普及のための新興国への技術支援・特許の無償提供が、温暖化防止にどの程度貢献しているかについても具体的な説明が不足している。

今後は、中長期目標や新規開発、事業計画に対する環境配慮や環境影響についての社内事前評価の仕組みなどの情報の充実が期待される。

株式会社ダイセキ環境ソリューション

環境・社会報告書 2015

環境報告書に必要な情報がある程度網羅的に開示されており、データも詳細なものが多く、誠実に開示を行うという方向性がうかがえる。また、自社の2025年ビジョンを開示しており、中期的な取組を進めていることが理解できる。数値的なゴールとロードマップがあるとなおよい。

その他、自社事業の特徴や効果を説明しながら環境への貢献を説明するなど、事業と環境の結びつきが強い報告書になっている。従業員をはじめとする人物の登場が多いことも親近感を感じ、好感が持てる。

大日本印刷株式会社

DNP グループ CSR 報告書 2015

DNP グループ 環境報告書 2015

CSR 報告書には第三者意見を開示し、環境報告書には認定を受けた機関による第三者保証を受けている。また、グループで実施しているエコ監査の確認項目や結果、並びに過去 3 年間の法令順守状況や発生事案への対応を丁寧に開示する等開示情報の信頼性・透明性向上に対する同社の積極性がうかがえる。

しかし、一部指標の集計範囲が国内に限られていることや、社会性情報に保証を受けていない等、バウダリーとスコープの拡大に期待したい。

武田薬品工業株式会社

Annual Report 2015

CSR Data Book 2015

企業価値創造の考え方と CSR のつながり・統合思考がひとときわ優れている。企業価値の源泉となる価値と資本をよく認識しており、CSR と深く一体化している。また、経営による事業レビューを含む戦略的 CSR 体制や外部との戦略的エンゲージメント体制が確立されている。

企業市民活動や企業としての健全性の維持向上に努めることも含めて CSR の取組がビジネス上の成果や企業価値向上にリンケージしている。例えば、サプライヤーは関連リスクのみならず機会創出も視野にマネジメントしており、リスク評価結果によってデューディリジェンスの実施レベルを決定する仕組みを設けている。途上国の保健医療の基盤強化にも取り組む等、企業市民活動も独自性がありレピュテーション向上につながる。また、発行目的次第ではあるが、冊子とウェブの併用の検討も必要と思われる。

株式会社タムロン

CSR 報告書 2015

レンズ等の精密部品メーカーとして、社員の 6 割が海外工場や欧米販売拠点で就業していることも手伝って、報告書は独自の CSR 経営をグローバルに展開するための基本要素をほぼ満遍なく押えた構成となっている。

「品質」と「環境」の統合マネジメントシステムに則り、循環型の生産・販売工程を目指しつつ、多様な人材育成や顧客からのネガティブ情報の吸い上げにも目を向けており、評価できる。

環境パフォーマンス面で、経年データの一層の充実が望まれる。

株式会社ツムラ

ツムラグループ コーポレートレポート 2015

コーポレートレポートであり、「社会とツムラの共通資本・共有価値創造」というモデルと全体構成はユニークで分かりやすい。6 次産業化の取組等がよくわかる報告書になっている。

一方で、2012 から 2015 年度の中期環境目標に比べ「国内のどの医療機関・診療科においても、患者様が必要に応じて“漢方”を取り入れた治療を受けられる医療の実現に貢献します」という 2021 年ビジョンと、各資本政策との関係がやや分かりにくい。

5. 受賞作品講評

株式会社ティラド

社会・環境報告書 2015

取組が着実かつ確実に実行されていることが読み取れる報告書である。重要課題の1つに「事業や製品への環境配慮」を掲げ、低炭素社会に向けた同社の取組を、図解を活用しながら分かりやすく説明している点は評価できる。特に製品に関する環境配慮については、PDCA の概念をベースにロジカルに説明されている点もよい。

今後は、同社が掲げている環境に関する重点項目と環境中期計画のリンク(整合性)をより明確にし、2021年、または2017年に向けた環境ビジョンを達成するための施策や、プロセスに関する説明が明確にされることが望まれる。

東京海上ホールディングス株式会社

東京海上グループ サステナビリティレポート 2015

損害保険という業種特性に立脚しつつ、中期経営計画と連動するCSR・環境課題を明示しており、大変分かりやすい報告書構成となっている。さらに、トップコミットでもサステナビリティの認識が強い。またマテリアリティプロセスを丁寧に解説し、環境をはじめとするESG経営の基本的考え方やそれに基づく戦略目標も分かりやすい(特にCO₂削減の2050年目標)。それゆえ、取組にも一貫性や整合性が感じられる。環境負荷データも比較的充実している。

経営トップの地球温暖化防止への認識は高く、グループ企業のカーボンニュートラルやマングローブ植林等に積極的に取組んでいることは評価できる。また、2050年目標として2006年比60%削減を策定していることも評価できるが、具体的な戦略とロードマップの提示が必要である。さらに、バリューチェーン・マネジメントの取組は行われているが、スコープ3の取組を含め、より実効性のある取組とすることを期待する。

東京ガス株式会社

東京ガスグループ CSR レポート 2015

本CSRレポート(ダイジェスト版)は57ページと比較的コンパクトであるが、CSR情報を網羅的に上手く取りまとめられている。マテリアリティの特定も緻密に行われており、それらを踏まえ6つの重点活動が設定され、レポートの構成もそれに準じているため読みやすい。CSRのバリューチェーン、LNGバリューチェーンにおけるGHG排出量、及びバリューチェーンにおける生物多様性の取組等、環境CSRの視座も広い。

一方、顧客先におけるCO₂排出抑制量や電力事業におけるCO₂排出係数等の経年変化は記載されているものの、重要なKPIと想定されるGHG排出量の経年変化の冊子への記載も望まれる。

東京都水道局

東京都水道局 環境報告書 2015

東京都水道局 環境報告書 2015 概要版(日本語版・英語版)

四本柱の環境基本方針を基軸に環境報告書全体が構成されているため、方針・目標・計画等の一貫性や整合性については高いレベルにある。健全な水環境の保全のための水道水源林の保全管理は読み応えのある内容であり、世界トップレベルの漏水防止対策や多種多様な環境コミュニケーションも素晴らしい。

ただし、大地震や風水害発生時の緊急時対応については、重要なライフラインの一つであることもあり、一定の当該取組内容の記載が望まれる。

TOTO 株式会社

TOTO 株式会社 Web ページ「環境へのとりくみ」

事業を通じた環境活動、特に水に関する取組が、図解や写真などを活用しながら読み手に分かりやすく説明しており、環境報告書としての役割を全うしたレポートとなっている。

環境パフォーマンスに関しては、水や CO₂ に関しては中期目標が開示されているが、再生エネルギーを含むエネルギー消費などについては実績のみの開示となっている。今後はこれらの項目についても中期目標の設定・開示が望まれる。また、可能であれば、長期目標の設定もあるとより同社の環境の対するコミットメントが理解しやすい。取り組む従業員の顔が見えるとストーリー性も増すのではない。

東洋製罐株式会社

サステナビリティレポート 2015

本業に沿った環境マネジメントを着実に取り組んでおり、経年変化が分かる数値の明示とともに、それぞれの目標と活動内容も分かりやすく開示されている点が評価できる。海外事例としてタイのグループ会社の事例紹介がある。

NS システムは画期的であるが、包装は文明の基盤であり、循環社会にとってキーとなる要素なのでさらなるイノベーションを期待したい。

今後は、国内を上回るグループ会社数 19 社に対してこれまで蓄積してきた環境マネジメントのノウハウを広められるとともに報告バウンダリーの拡大が望まれる。

東レ株式会社

東レグループ CSR レポート 2015

トップコミットメントに続く中期経営計画及び 3 年単位の CSR ロードマップを軸に、分野毎の取組が各ページで主要データと共に詳細に開示されており、同社の考え方が理解しやすい構成と、環境経営の厚みが伝わる内容になっている。

また、全製品について生物由来原料の使用状況調査が実施され、国内関係会社社員を対象とした生物多様性研修を実施するなど、同社の生物多様性対応への本気度がうかがえる。関連活動である拠点の緑化保全については、方針の他、中長期の定量目標・実績を開示している。

ただし、環境データの補足範囲が連結対象とは大きく隔たっており、特にマテリアルバランスの投入面の開示が薄い。巻末には GRI ガイドライン対照表も開示されているが、非開示項目についての背景説明があれば読者の納得感が高まる。

5. 受賞作品講評

成田国際空港株式会社

成田国際空港 環境報告書 2015

WHAT IS ECOAIRPORT?(ダイジェスト版)

空港全体としての「エコ・エアポートビジョン 2020」を掲げ、「エコ・エアポート推進協議会」等を通じて空港で活動する事業者等との協働体制や取組が記載されることにより、空港という特定事業における環境対応とステークホルダーとの関係が分かりやすく明示され、大いに評価できる。さらに、環境課題への取組実績の記載が大変充実している点も評価できる。

一方で、インフラ企業としてより将来を見据え、空港という事業特性から見るグローバルあるいは地域の社会・環境課題認識、より中長期の方向性の提示と報告を期待したい。

日本精工株式会社

CSR レポート 2015

100周年である2016年を目前に、これからも成長し続けるための「NSK ビジョン 2026」を策定した事は評価できる。トップ自ら次の100年に想いを馳せ、ステークホルダーとのコミュニケーションとして情報開示の質・量のレベル向上を努めたことが言及されている。環境報告ガイドラインに忠実に沿い、しっかり取り組み、開示する姿勢には誠実性が感じられる。また、ステークホルダーの認識の中で「次世代」をステークホルダーと捉えている点が画期的である。

2種類の報告書は目的が明確で、かつ目的に沿った編集がなされており、高く評価できる。

日本電信電話株式会社

NTT アニュアルレポート 2015

NTT グループ サステナビリティレポート 2015

企業の将来に向けたコミットメントを真摯に打ち出していることが高く評価できる。マテリアリティの策定がなされており、定量指標が提示され実績により評価されていることで、企業の姿勢が明確になっている。さらに、バリューチェーンで全体での温室効果ガス排出量削減に取り組んでおり、スコープ3の把握をしていることも環境責任を果たすという企業の意欲を感じる。統合思考にもとづいた情報開示がさらに進むことを期待している。

これだけの巨大グループなので、例えば資料集を別にするなど、ウェブとの併用での工夫、全体像を俯瞰することのできるダイジェスト版等も、目的に応じて検討する価値はあると考えられる。

日本山村硝子株式会社

Corporate Communication Book 2015

ガラスびん製造を事業の柱にしているため、ガラスびんのリサイクル活動には年季が入っている。ガラスびんの3R(軽量化でリデュース、きれいに洗ってリユース、カレットとしてリサイクル)の取組をわかりやすく表示、説明している。

地球温暖化対策・CO₂ 排出量低減の推進をはじめ、環境のための取組が「環境保全活動の目標と実績」として明瞭に表示されている。CSR 報告のレベルも高く、「一般事業主行動計画の目標と実績」の目標が具体的である。

「労働安全衛生の取り組み」では、休業災害度数率、休業災害強度率を直近4年について製造業、産業全体との比較で表示しており、真摯な姿勢がうかがえる。

日本郵船株式会社

NYK レポート 2015

持続的成長に向けた経営視点でのリスク分析、重要課題が特定、明示されている点、また企業価値向上プロセスとして財務と非財務と関連付けて報告している点は大いに評価できる。また、事業と生物多様性の関係性マップを示すことにより、事業を取り巻く環境課題がコンパクトにまとめられて、わかりやすい。

2050年ゼロエミッションシップの実現へのロードマップについて、今後は期待したい。

パナソニック株式会社

サステナビリティ データブック 2015

ESG 評価や BtoB 対応という目的での編集の意図がよくわかる報告書である。その目的のためには財務データとの統合思考の試みがほしいところである。

「化学物質管理」の項目を入れた点や、全体的に読みやすく編集されている点、第三者評価が記載されていることが評価できる。一方で CSR についての内容を削ってしまったのか、総花的にまとまっている印象を受ける。労働安全衛生や CO₂ 排出量についての記載はあるものの、CO₂ 排出量が増加した理由の記述が無い。また、将来的な方向性、ビジョンが文中では把握できない。

巨大企業グループなので、マルチステークホルダー対応をどうするのかの検討について望まれる。

ハリマ化成グループ株式会社

環境・社会報告書 2015

各サイトの環境保全効果(物流効果)が明記されているなど、データが充実している。印刷インキ用樹脂の原料である松やに(ロジン)と絡め、生物多様性に言及されていない点が惜まれる。

今後は投資によるコストダウン効果や売上効果への言及、メガソーラーや環境配慮製品開発の事業上の効果への考えを掲載することが望ましい。

また、環境配慮製品の開発も環境負荷低減への取組も、個別の見方にとどまりライフサイクル全体の視点が少ない。主力製品だけでもよいので、自社の範囲を超えたお客様先での効果、全体感のわかるデータの表示などが望まれる。

株式会社日立製作所

日立グループ サステナビリティレポート 2015(詳細 PDF 版・ハイライト版)

詳細 PDF 版には CSR 活動の詳細が GRI-G4 に準拠して記述されている。経営層のコミットメント、CSR 活動の計画や実績などが明確に理解できる。各章は「アプローチ」、「活動の成果」、さらには今後の「エンゲージメント」といった項目でまとめられており、理解しやすい編集となっている。環境活動面では、低炭素社会への貢献、環境に配慮した製品やサービスの提供、ものづくりについて、具体的な事例を交えながら、資源循環や地球温暖化対策など様々な側面から公表している。

追加情報としては、自社の情報発信・広報活動の取組は明確に記述されているが、外部ステークホルダーからの期待・関心をどのように吸い上げて対応しているかなどのコミュニケーション情報も望みたい。また、土壌汚染調査、新規事業や開発進出に対する環境影響事前評価などの情報の記載も望ましい。

5. 受賞作品講評

ヒューリック株式会社

CSR レポート 2015

同社が認識する社会課題が、環境側面に直結していることがわかりやすく記載されており、その社会課題解決に向けた取組が具体的に記載されていることから、同社の価値創出の実現性が感じられる内容となっている。2020年に向けたCO₂削減ロードマップでは、数値目標が明確にされ、特にマサチューセッツ工科大学との共同研究による自然換気・自然採光システム、ビルの長寿命化の取組は、大きな成果につながっていくことが期待をそそる内容となっている。

富士通株式会社

富士通グループ 環境報告書 2015

環境情報の開示に特化しており、気候変動の緩和策と適応策の双方に関わる事業活動と計画をメインテーマとして報告書がまとめられていることは興味深い。それぞれの事業と環境課題との関係性が明確であるため、さまざまな事業が紹介されているが、パンフレットのようにはならず、事業活動を反映した「環境報告書」となっている。多彩な取組は今後の発展を期待させるものであり、リーダーシップの発揮を期待したい。

また、ユーザーガイドがありPDF版での閲覧を容易にする情報提供の仕方に工夫があることもおもしろい。

富士フイルムホールディングス株式会社

富士フイルムホールディングス サステナビリティレポート 2015

本誌は、スタートした2014年から2016年度の中期CSR計画(SVP2016)が、どのようにグループのCSRの考え方である「事業活動を通じて企業理念を実践することにより、社会の持続可能な発展に貢献」しているかの、定量的目標及び途中経過の分かりやすい報告となっている。マテリアリティ課題特定プロセスの説明が丁寧で、独自性がある。バリューチェーン・マネジメント強化にも言及されており、今後の活動が期待できる。環境側面に関する情報も整備され、第三者検証をうけている点も評価できる。

環境社会への取組が経済側面にもたらすインパクトや戦略など非財務情報へのリンケージの内容についてのさらなる充実を期待したい。

ブラザー工業株式会社

環境への取り組み

環境スペシャルサイト brotherearth.com

環境報告書としてまとめられており、特に「環境コミュニケーション」では双方向コミュニケーションと、「電機・電子業界における生物多様性の保全にかかわる行動指針」で選定された8項目に対する取組内容について記載するなど、生物多様性保全への取組に力を入れている。「事業所の環境負荷削減」では「CO₂排出削減活動」に力を注いでいるのは好感が持てる。

ただし、グラフを活用してレイアウトを見やすくすることや、統合思考としての財務関係に関する記述が少ないのが気にかかる。第三者意見だけでなく、審査機関に頼むのも一考を要する点であると思う。また、ウェブで大量の情報公開をするのはよいが、読む人のことを考えると編集は必須であり、工夫がほしいところである。

三井化学株式会社

三井化学グループ CSR 活動報告 2015

詳細なWEBサイト情報の他、冊子『CSR Communication 2015』もあり、大変読みごたえのある報告書となっている。

環境、長寿社会、地域社会の諸課題解決に貢献しながら将来収益の柱として成長期待できる事業分野を分析している。環境配慮製品は、製品ライフサイクルで評価し環境貢献を判定した「Blue Value ™」があり、これの売上高推移を示していることを評価したい。

2020年近傍の目標からバックキャストさせたとのことだが、この程度の期間であれば具体的な数値目標が欲しいところである。

三菱樹脂株式会社 平塚工場

2015 環境報告書 三菱樹脂 平塚工場

「環境報告ガイドライン 2012」との対比表を作成して記載事項をチェックしていることもあり、網羅性への配慮の姿勢が伺える。また本報告書では、事業者以外の第三者から意見をもらい、記載情報の信頼性の確保に努めている。生物多様性保全に関する取組の一環として、地域の生物多様性保全活動だけでなく、設備投資時に環境アセスメントを行う「環境チェックリスト運営要領」を策定し運営している点が目を引いた。

なお本報告書の対象範囲に関して編集方針には平塚工場以外の2つの製造所も含まれていると明記されているが、それらの製造所の活動が見えにくく、何らかの工夫や改善、もしくは補足説明を期待したい。

みやぎ生活協同組合

2014 年度 環境活動のまとめ

環境報告の基本的事項についてほぼ漏れなく記載されている。また、環境経営の経済的側面に関する項目(財務面、環境会計・環境効率面)については的確かつ丁寧に報告されており、とてもレベルの高い内容である。CO₂削減では設備投資にも踏みこんでおり、取組レベル・意識の高さがうかがえる。

一方で、環境マネジメントに関する項目(内部監査やリスクマネジメント等)、環境配慮経営における社会的側面に関する項目(人権・従業員教育等)、総エネルギー投入量・温室効果ガス排出量等の個別指標についてもう少し明確な記載が望まれる。

リヴァックスホールディングス株式会社

リヴァックスグループ CSR 報告書 2015

グループ企業の構成の中で、廃棄物処理事業の将来性を見据えた3Rの事業展開を行っており、新しい視点での発展が期待されることが、トップのコミットメント及び業務の紹介、有識者ダイアログからうかがうことができる内容となっている。

また、土壌改良材製造工程でのバイオマスボイラー導入によるCO₂削減の取組は、環境のみならず経済・社会的な面でも優れている。ネガティブ情報も多く開示しており、廃棄物処理事業が地域に受け入れられるようコミュニケーションもよく図られていることも高く評価できる。

5. 受賞作品講評

レンゴー株式会社

環境・社会報告書 2015

包装が持続可能な社会の重要な基盤であることを認識したよい作品である。RSDP はその象徴といえる。地球温暖化対策は、前から中長期の目標を掲げていることは高く評価できる。ただ、パリ協定で文明のベクトルが変わったことを考えると、もう一度見直し、カーボンフリーへのチャレンジを期待したい。

ダイバーシティにも取り組んでことが読み取れるが、男性の長時間労働撲滅と、今後のために国籍等多様性についての記載も期待したい。

ローム株式会社

ROHM Group Innovation Report 2015

製品の品質向上から CSR 全般の課題まで網羅性をもって記載されており、事業活動全般の方向感が読者に伝わる内容となっている。過年度の CSR の目標、実績と 2015 年度の目標等を記載し、各課題をしっかりトレースしていこうとする姿勢を対外的に示すツールとして機能する報告書である。

環境をはじめとした CSR 課題への取組と事業活動との関係性がさらに体的に表現できれば「持続可能な社会を実現するために」と報告書に添えられた副題のコンセプトを、より明確に伝えることができると思われる。定性情報が多いが、ウェブとの併用で定量情報を増やすことも期待したい。

環境活動レポート部門

大賞（環境大臣賞）

株式会社 GE

環境活動レポート 2015

全体的に、図や表、グラフ、写真をバランスよく活用して、読み手に理解してもらえよう工夫した活動レポートとなっている。またエコアクション21環境ラリーなど、全員参加型の活動となるよう意識した取組事例を多く掲載しており、他の事業者の参考となるような完成度の高いレポートとなっている。

代表者の指示がより具体的な取組に掘り下げられ、次年度に活かされていることがわかるようになるとよりよいものとなると思われる。また、取組の紹介の中で担当者の声を載せることで読み手にとって一層好感が持てるレポートになるだろう。さらにレベルアップを図る意味で、処理量あたりのCO₂排出量等で分析・評価を載せることの検討も望ましい。



もくじ

もくじ／組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1	環境活動計画の評価・・・・・・・・・・・・・・・・	9
環境に配慮した施設・・・・・・・・・・・・・・	2	その他環境活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
売上高及び処理量の推移／処理フロー・・	3	外部コミュニケーション・・・・・・・・・・	22
許可内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4	環境関連資格保有者・・・・・・・・・・	22
低濃度PCB廃棄物無害化処理・・・・・・・・	5	教育／安全／訓練・・・・・・・・・・	23
環境理念／環境方針・・・・・・・・・・・・	6	環境関連法規等の順守・・・・・・・・・・	25
組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7	代表者による全体評価と見直しの結果・・	26
環境目標及びその実績・・・・・・・・・・	8		

Topics

- ① 平成26年9月に低濃度PCB廃棄物無害化処理の環境大臣認定を取得いたしました。（P5参照）
- ② 平成27年2月に環境コミュニケーション大賞 優秀賞、平成26年12月におおさか交通エコチャレンジ賞 優秀賞を拝受しました。（P19参照）
- ③ 焼却炉の押し込み送風機モーターをインバーター式へ変更する等、省エネ活動を行いました。（P17参照）

組織の概要

会社名	株式会社 GE
所在地	〒592-8331 大阪府堺市西区築港新町一丁目5番38 TEL 072-243-6335 FAX 072-243-6336 URL http://www.general-ecology.co.jp/
創立	平成15年3月26日
代表者	代表取締役 金子 文雄
資本金	9,000万円
従業員数	64名
環境管理責任者	新井 武好
担当者	辻内 由佳・東口 岳文
事業内容	産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬・積替保管及び中間処理 (焼却、選別・破碎、脱水、乾燥)
グループ企業	大栄環境グループ
認証・登録日	平成19年7月31日
処理料金	詳細については、 連絡先までお問合せください。※御見積もりは、無料で承ります。



リョウジュしんどう
礎女神像

5. 受賞作品講評

優秀賞（地球・人間環境フォーラム理事長賞）

国立大学法人鳴門教育大学

エコアクション21環境活動レポート

附属の幼稚園と小学校、中学校、特別支援学校を含む大学・大学院を核とする国立学校法人である。本業の教育施設として、幼稚園児からの環境教育の推進をはじめ、附属小学校、附属中学校における環境教育の取組状況が簡潔に、わかりやすくまとめられている。大学の入学式のオリエンテーションでは、エコアクション21の概要を説明するなど、環境マインドを持つ人材の育成のための様々な取組も行っている。また、施設管理面におけるCO₂、水、廃棄物の排出量等の環境負荷削減の取組については、目標の達成状況の評価、未達成の場合の原因分析、次年度の取組内容の見直し等、積極的な実践活動が行われていることがうかがえる。

ただし環境目標に関して、中長期の目標の設定と取組の方針がないのが気になる。レポートの内容については、全体的に各項目が丁寧に記述され、読み手に理解されやすくまとめられており、完成度の高い環境活動レポートとなっている。

廣間組有限会社

環境活動レポート ～環境への恩返し～

土木工事や建築工事等の事業を行っている従業員数20名の事業者である。環境活動レポートはその内容がよく整理され、随所にグラフや写真が多用され、分かりやすいものとなっている。特に、環境活動についての内容は充実しており、同業他社の環境活動のヒントにもなり得る。また、環境目標を平成29年度まで事業所と現場とに分けて設定していることや、工事現場にもコミュニケーションボックスを設置する等のコミュニケーション上の工夫は高く評価できる。

さらに、環境配慮施工の推進及びPRと共に、今年度から「山櫻プロジェクト(山櫻の苗木を地域に植樹する事で、山櫻の保全(生物多様性への配慮)とCO₂の吸収・固定(低炭素化社会の推進)を図りながら、桜の名所(地域資源の有効活用)を誕生させる取組)」を開始し、また、清掃活動等の社会貢献活動を積極的に行っていることも高く評価できるポイントである。

株式会社弥生石油店

エコアクション21環境活動レポート

従業員14名の小規模な石油販売会社であり、販促用チラシの配布をLINEのメールマガジンに転換する等の独自の取組を進めながら、CO₂排出量、廃棄物、水使用量の削減目標を着実に達成している。また、環境配慮型商品として環境配慮型オイル「SUSTINA」の販売促進を行っている。

楽しく読み手に読んでもらう工夫として、年間の活動経過と月次の目標達成状況をスゴロク方式で表現する手法はユニークで、他に例を見ない。手作り感がありながら、必要な情報を盛り込み、わかりやすく伝えようとする努力がよく伝わってくる。各活動の分析内容の記述から、オンタイムで工夫しながら活動を継続改善している様子がよくうかがえる。

来ハトメ工業株式会社

環境活動レポート 2015年版

アルミ電解コンデンサ用アルミケース等、金属材料を使用した容器、ケース、ガイドを製造している。会社の事業内容が写真や図表を使用し、大変分かり易く記載されている。会社概要の中で、一人一人の社員を写真で紹介し、併せて環境上の役割を記載し、全社員で環境改善に取り組んでいることが判る。環境目標では分母となる原単位を自社の活動に基づき独自のものを使用しており秀逸である。活動内容の記載、評価、次年度への取組も詳細かつ具体的であり、内容も明快である。

年度で新規に取り組んだことは、環境トピックスとして取り上げており、継続的改善の内容も分かり易く示されている。経営者を含め、会社全体で環境に取り組んでいる様子がうかがえるレポートである。

内田工業株式会社

環境活動レポート～2014 年度版～

環境活動計画を詳細に記載し、担当や責任者を決めて取組を行っている。実績については、図表を用いてわかりやすくまとめられており、社内の読み手を意識した内容になっている。特に環境目標(電気使用量)については、電気使用量の見える化や外部の省エネ診断を実施し、本格的な節電対策を実施しようとする様子がよくわかる。目標の大幅な未達成について詳細な分析を実施しており、大量に電気を使用している施設を把握し、対策を絞り込み、実施した一連の過程が記載されていて興味深い。その対策に基づいて翌年の環境目標を設定し、意欲的な内容となっている。

一方、製造工程に対する取組の記載があまりされておらず、また、製品の写真、具体的な製品紹介などの業務内容に関する記載がなく、一般的な金属製品以上の理解をすることが難しい。以上の点を今後は工夫し、さらに社外を意識したレポートであるとなおよい。

社会福祉法人恩賜財団 済生会支部大阪府済生会吹田病院

平成 26 年度さいすい環境活動レポート

グラフを多用して、視覚的にわかりやすくできている。病院の本業との関連で、病院の在院日数短縮などのユニークな取組も評価されるなど、高い水準で取組が行われている。レポート内容については、全体的に各項目が丁寧に記述され、読み手に理解されやすくまとめられている。ただ、代表者の総括が短く記載されており、院長(代表者)がどの程度関与し関心を寄せているのか、十分に伝わってこない点は改善の余地がある。

株式会社河原工房

株式会社河原工房 2014 年度環境活動レポート

建築一般、リフォーム工事等を行っている従業員数 14 名の事業者である。環境活動レポートは、その内容がよく整理されており、随所にグラフや写真が多用され、また読み手を意識した表現方法の工夫等により、分かりやすく記載されている。特に、削減効果が高かった取組については、その取組事例と効果が得られた理由が詳細に記載されており、他事業者の環境活動のヒントになり得る。

また、エコアクション 2.1 導入による経営指標の記載、顧客へのニュースレターによるエコアクション 2.1 活動報告の配信については、高く評価できるものである。

さらに、同社の本業の事業活動において、環境に配慮した建築物等の提案・建築施工の推進としてエコリフォームの提案や、古民家は最新の循環型住宅として捉えた「古民家再生活動」の実施等も高く評価できるポイントである。

株式会社環境計画研究所

環境活動レポート

環境問題に関する調査研究、行政機関の政策立案支援、国内外の事業者に対する環境対策技術支援、講演・セミナー・執筆活動、データベース構築・ソフトウェア開発などを行う環境コンサルとして、その本業における環境負荷低減を定量的に評価しようとする取組は評価される。ただし、提供されるサービスの内容が不明なので、今後、この評価を説得力ある形で示すことが期待される。また、取組結果の評価について、具体的な説明がきちんとなされていることは評価できる。

全体を通じて、読み手になんとか分かって欲しいという書き手の思いがよく伝わってくるレポートとなっている。社長の環境負荷低減への意欲が強く感じられることも特筆される。

株式会社環境ビジネスエージェンシー

環境活動レポート 2014 年度版

従業員 5 人の小規模事業所であるが、ガイドラインの要求事項に沿ってきめ細かく工夫した取組が実施されている。環境活動に関しては環境コンサルティング業としてきちんと取り組んでおり、活動の評価やそれに基づく次年度の取組計画をきめ細かく記載する等から、積極的な姿勢が感じられる。エコアクション活動に対する社長のリーダーシップや問題意識の強さがうかがえる。

レポートは、細部のところまで丁寧に作成されており、簡潔な説明でわかりやすく、手作り感のある内容に仕上がっている。

九州林産株式会社

環境活動レポート 2015

森林管理事業・緑化事業を中心に行っている従業員数 107 名の事業者である。環境活動レポートは、その内容がよく整理され、分かりやすいものとなっている。特に、環境負荷の推移、取組内容、分析結果が一目で把握しやすいものとなっている。また、マテリアルバランス、環境会計(環境活動コストと経費削減効果)を記載していることは、高く評価できるものである。

森林管理事業を通じた生物多様性への取組としては、生物多様性保全ガイドラインの策定や、「環境活動の場」の整備等を行っている点、地域との環境コミュニケーションとして、「大分県小規模集落応援隊」への参加、施設管理を通じた環境イベントの開催、清掃活動への参加等を積極的に行っている点等の先進的な活動を行っている。

光洋電器工業株式会社

エコアクション 2.1 環境活動レポート 第 8 版

環境活動実績・評価の内容がグラフや表を使用し、コンパクトに要領よく整理され、わかりやすく読みやすい報告書となっている。2014 年では焼成効率改善、環境配慮製品としての点滅器、セメント汚泥の脱水処理をするなど、毎年新たな活動を追加している。また、部門独自の環境目標を設定するなど、改善活動を常に向上させていることが窺える。特に環境方針に掲げている CO₂、廃棄物、水使用量の削減については、実績の分析や今後の取組が適切に記載されている。

2015 年度からの中期目標が、原単位であるにもかかわらず、今後ずっと同じ値になっているので、今後は目標値を見直すか、理由を明記するといいのではないか。さらに、対外的に公表するものでもあるため、アピールポイントを明確に出せるとよいのではないか。

5. 受賞作品講評

学校法人郡山開成学園

環境活動レポート 2015 学校法人郡山開成学園

付属幼稚園と高校を含む、大学・大学院を核とする学校法人であるが、学校法人の環境方針としてエコマインドを持った学生・生徒の育成を掲げていることは評価できる。また、施設管理面の環境負荷削減の取組のほか、地域貢献活動や対外的な情報発信など、積極的な実践活動が行われている点が評価できる。記載・表現についても、全体として、各項目が丁寧にかつ読み手にわかりやすいように記載されており、グラフや写真などの使用も適切になされており、完成度の高いレポートとなっている。

ただし、エコマインドを持った人材育成に関する目標や目標達成手段がエコ検定合格以外は具体的でなく、この点の改善が図られれば、学校法人として、きわめて説得力のあるレポートになると期待される。

有限会社三立

2014 年度 環境活動レポート

積極的な社員教育・内部コミュニケーションを通じて、全社で環境活動を推進している姿がうかがえる。レポートは過不足なく要点をわかりやすく伝えており、関連用語や取組の背景についても触れられているため読みやすくなっている。各目標の達成状況と要因分析が詳細で、環境活動の具体的な内容は写真を多用してわかりやすく表現されている。環境関連法規等の順守状況については、確認方法まで記載している事業者は少ないため、評価できる。また、取組内容も、審査人からのアドバイスや関係者のネットワークを活用して情報収集に努め取り入れていることがうかがえ、代表者・環境管理責任者の意識・意欲の高さが感じられる。

JFE プラリソース株式会社

エコアクション 2.1 環境活動レポート 2015

リサイクル工程について、図表を用いて説明するなど、読み手にとって読みやすい活動レポートである。また、認証取得から5年が経過し、認証取得前と今年度のチェック項目を比較したり、活動内容を総点検したりするなど、より高度な段階に移行しようとする努力がうかがえ、積極的にEMSを活用している事業者であることが認識できる。

役割表では全員参加を確実なものとするためにも、推進員、従業員の役割も記載したほうがよいと考える。また、環境方針の法令順守に関する項では法規、規制以外の約束事を順守することを記載されるとよりよい。ガイドラインでは環境関連法規の他にその他の要求事項の遵守も要求している。

ダイオ化成株式会社

エコアクション21 環境活動レポート

当社は、防虫網をはじめ各分野の網製品を製造、販売するメーカーである。環境活動レポートは環境目標の実施内容、評価、さらにエコアクション21導入後の改善対象別の経年結果を記載しており、詳細な内容となっている。写真、図表も適切に活用し理解を助けている。廃棄物の徹底した調査分析により、排出物の種類と対応を定めているのは現場主義の現れた好例である。パフォーマンス改善の効果も出ており、廃棄物は長期的に減少傾向が続いている。

今後は、環境改善、人材育成を目指し、「設備」、「資源」、「工程ロス」の3つのワーキンググループを立ち上げ、業務に密着した改善活動に取り組んでゆく計画である。製品においては、農業資材など減農薬に貢献できるものもあり、業務を通じての環境面での貢献を考慮することを期待したい。

東洋冷蔵株式会社

環境活動レポート2015

水産物・水産加工物を取り扱う従業員840名の中規模の総合水産商社であり、全国各地の複数の支店・工場や関係会社等の多数の拠点における環境マネジメントシステムを、効果的・効率的に運用していることが、よくうかがえる。環境パフォーマンスについてはグラフで、環境活動の内容については写真と図解で、簡潔に要点を伝えている。電力使用量や水資源、紙資源使用量の削減といった基本的な取組に加えて、冷凍冷蔵設備における自然冷媒への転換、コラーゲン等の食品残さを活用した自社製品開発による食品廃棄物の発生抑制、水産資源の持続可能な利用をめざしたクロマグロ養殖など、事業活動の中核における積極的な取組も高く評価できる。

株式会社長門屋商店

環境活動レポート 2014 年度版

当社は、紙加工品の商社であり、環境方針に「環境にやさしい商品づくり」を目指していることが示されている。レポートは1枚完結の形式で分かりやすく、すっきりとまとまっており、写真の使用も適切である。CO₂排出量等の環境目標は実績を踏まえた上で、意欲的な数字を掲げ、効果もあげている。環境対応商品の売上高向上を目標としており、全体の売上高に対する比率も高く、方針に示した意図が実践されている。売上の一部を外部団体の環境活動へ寄附をしており、社外へ自社の活動を「環境活動ニュース」として配布しているなど、環境コミュニケーションにも積極的である。

代表者による総括は具体的な内容であり、トップがエコアクション21にコミットしていることがうかがわれる。

5. 受賞作品講評

西岡化建株式会社

2015 年度 環境活動レポート

防水工事、防食工事等を行っている従業員数 28 名の事業者である。環境活動レポートはコンパクトにその内容がよく整理され、分かりやすいものとなっている。また、防水材等の環境対応型材料の環境配慮ポイントを解説している点、環境保全活動や環境イベントに社員一丸となって取り組んでいることがうかがえる点は、高く評価ができる。

さらに、「5S 活動（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）」の推進、防水材等における環境対応型材料の採用などの工事施工上の環境配慮への取組、地域子ども会への活動協力等の社会貢献活動、野菜の無農薬有機栽培、緑化等の生物多様性保全への取組を行っている点も、高く評価できる。

株式会社林自動車工業

環境活動レポート

京都という土地柄を踏まえ CO₂ に重点を置いたうえで、改造電気自動車の取組などアイデア満載の活動を行っており、高い水準での活動ができていることが読み取れる。写真を多く用い、外部の人が読んでも理解しやすいように、読み手を意識したつくりになっていることも評価できる。

ただ、環境配慮をアピールするレポートなので、両面で印刷することが望まれる。また、改造電気自動車への取組も目標設定するとさらによい。なお、電気自動車の CO₂ 削減効果を比較する場合は、充電に使用した電力による CO₂ 排出量も考慮して比較した方がよい。代表者による見直しでは具体的な指示を行うことで PDCA による改善が期待できる。

福井環境事業株式会社

環境活動レポート 2014 年度

図表や写真を用いて、様々な活動の様子や実績等が効果的に表現されており、読み手にとって非常にわかりやすい活動レポートである。また、リサイクル工程について写真等を用いて掲載することで、自社の事業内容が把握できるなど大変理解しやすいものとなっている。

環境方針の「マテリアルリサイクルの推進」の目標設定は、もう一工夫あるとよい。また、環境関連法規については、適用される施設等も記載するとさらに充実するものと感じる。

株式会社北陽商会

環境活動レポート「地球と仲良し」Vol.11

認証登録年より高い水準での目標を掲げ、エコアクション 2.1 を用いた環境活動を積極的に実施しているだけでなく、詳細な取組内容も記載されており、かなり完成度の高いレポートである。また、地元の行事紹介や環境問題のクイズを盛り込むなど、読み手を飽きさせない工夫がされており、環境コミュニケーションのツールとしてもより高度に活用されていることがうかがえる。

次年度以降の取組として、顧客起点でのサービスとして目標未達となってしまった項目について、具体的かつ斬新な取組が提案されることを期待する。また、一目で中身の概要がわかるように目次を入れたり、「はじめに」のところで代表者の環境への取組の思いも入れるなどさらなる工夫があるとよいのではないかと。

6. 審査委員

(審査委員長・座長除く 50 音順、敬称略)

環境報告書・環境活動レポート部門 審査委員

- | | |
|--------|------------------------------|
| 山本 良一 | 東京大学 名誉教授／東京都市大学 特任教授【審査委員長】 |
| 奥山 祐矢 | 環境省総合環境政策局 環境経済課長 |
| 小澤 ひろこ | 国際統合報告評議会 リレーションシップ・マネージャー |
| 上妻 義直 | 上智大学経済学部 教授 |
| 後藤 敏彦 | 環境監査研究会 代表幹事 |
| 佐藤 泉 | 佐藤泉法律事務所 弁護士 |
| 寺田 良二 | 一般社団法人サステナビリティ情報審査協会 副会長 |
| 藤村 コノエ | NPO 法人環境文明21 共同代表 |
| 森下 研 | 一般財団法人持続性推進機構 専務理事 |
| 八木 裕之 | 横浜国立大学経営学部 教授 |
| 和貝 享介 | 日本公認会計士協会 常務理事 |

6. 審査委員

環境報告書部門 ワーキンググループ委員

猪刈 正利	株式会社インターリスク総研 事業リスクマネジメント部環境グループ シニアマネージャー・上席コンサルタント
岩佐 允勝	グリーン企画社 代表
岩下 翠	EY 新日本サステナビリティ株式会社
大川 昌晴	環境省総合環境政策局 環境経済課
奥野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 環境・エネルギー部 副主任研究員
春日 秀文	春日法律事務所 弁護士
鹿住 貴之	認定 NPO 法人 JUON(樹恩)NETWORK 理事・事務局長
川村 雅彦	株式会社ニッセイ基礎研究所 保険研究部 上席研究員
北橋 みどり	NPO 法人 エコ・リーグ
阪野 朋子	NPO 法人サステナビリティ日本フォーラム 事務局 次長
坂本 茂實	坂本技術士事務所 代表
田原 英俊	あらた監査法人 サステナビリティ・サービス マネージャー
塚本 奈穂子	有限責任監査法人トーマツ エンタープライズリスクサービス
鶴田 佳史	大東文化大学 環境創造学部 准教授
中山 育美	一般財団法人日本環境衛生センター 環境工学部調査課
根村 玲子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 環境委員会
早川 直孝	一般財団法人地球・人間環境フォーラム 企画調査部 調査主任
播野 直美	KPMG あずさサステナビリティ株式会社
三樹 尚子	ミキオフィス 代表
葎嶋 真理	オフィスむぐらじま SRI アナリスト
村上 智美	みずほ情報総研株式会社 環境エネルギー第2部 シニアコンサルタント
森田 了介	全国繊維化学食品流通サービス一般労働組合同盟 政策・労働条件局 常任中央執行委員
後藤 敏彦	環境監査研究会 代表幹事【座長(コーディネーター)】

環境活動レポート部門 ワーキンググループ委員

宇田 吉明	宇田環境経営研究所 代表、エコアクション2.1 審査人
黒柳 要次	株式会社パデセア 代表取締役、エコアクション2.1 参与 エコアクション2.1 審査人認定委員、エコアクション2.1 審査人
瀬尾 隆史	公益社団法人日本環境教育フォーラム 理事・事務局長
立花 丈美	アスクル株式会社 CSR・総務本部 CSR 推進
田中 浩二	一般社団法人サステナビリティ情報審査協会 事務局長 e.s.feed 株式会社 代表取締役
田中 充	法政大学社会学部 教授、エコアクション2.1 参与、審査人認定委員 エコアクション2.1 運営委員・判定委員【座長(コーディネーター)】
永宮 卓也	環境省総合環境政策局 環境経済課
西原 弘	有限会社サステイナブル・デザイン研究所 取締役社長、エコアクション2.1 審査人
松岡 夏子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 環境エネルギー部 副主任研究員
森下 研	一般財団法人持続性推進機構 専務理事、エコアクション2.1 中央事務局 事務局長

7.応募団体一覧

環境報告書部門

アースサポート株式会社	関西電力株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	関西ペイント株式会社
アサヒグループホールディングス株式会社	キヤノン株式会社
味の素株式会社	共同印刷株式会社
アズビル株式会社	京都生活協同組合
荒川化学工業株式会社	国立大学法人京都大学
株式会社アレフ	麒麟ホールディングス株式会社
飯野海運株式会社	株式会社クボタ
イーグル工業株式会社	国立大学法人熊本大学
イオン株式会社	KDDI 株式会社
イオンモール株式会社	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
いすゞ自動車株式会社	江東区
井関農機株式会社	国立大学法人神戸大学
株式会社伊藤園	株式会社神戸製鋼所
伊藤忠商事株式会社	コクヨ株式会社
伊藤ハム株式会社	コニカミノルタ株式会社
株式会社イムラ封筒	株式会社小松製作所
国立大学法人岩手大学	コムシスホールディングス株式会社
ウシオ電機株式会社	株式会社札幌ドーム
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構	サトレストランシステムズ株式会社
エス・エヌ・ケー・テクノ株式会社	サラヤ株式会社
エスペック株式会社	国立研究開発法人産業技術総合研究所
株式会社 NTT データ	サントリーホールディングス株式会社
国立大学法人愛媛大学	三洋化成工業株式会社
株式会社エフ設計コンサルタント	サンメッセ株式会社
王子ホールディングス株式会社	JX ホールディングス株式会社
大阪いずみ市民生活協同組合	JFE プラリソース株式会社
大阪ガス株式会社	JFE ホールディングス株式会社
株式会社岡村製作所	株式会社滋賀銀行
沖電気工業株式会社	国立大学法人静岡大学
カゴメ株式会社	シスメックス株式会社
カルソニックカンセイ株式会社	株式会社島津製作所
独立行政法人環境再生保全機構	シャープ株式会社

シャープ株式会社 葛城事業所	大和ハウス工業株式会社
シャープ株式会社 亀山工場	タキロン株式会社
シャープ株式会社 奈良事業所	株式会社タケエイ
シャープ株式会社 三重工場	武田薬品工業株式会社
株式会社ジャパンビバレッジホールディングス	株式会社ダスキン
株式会社商船三井	株式会社タムロン
信越化学工業株式会社	国立大学法人千葉大学
信越ポリマー株式会社	中国電力株式会社
新関西国際空港株式会社	中国塗料株式会社
国立大学法人信州大学	株式会社ツムラ
新日鐵住金株式会社	株式会社ティラド
住友化学株式会社	帝人株式会社
住友金属鉱山株式会社	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
住友ゴム工業株式会社	株式会社東海理化
住友電気工業株式会社	東京海上ホールディングス株式会社
住友林業株式会社	東京ガス株式会社
生活協同組合コープみらい	東京急行電鉄株式会社
生活協同組合コープさっぽろ	東京都水道局
生活協同組合連合会コープネット事業連合	東芝テック株式会社
セガサミーホールディングス株式会社	東都生活協同組合
積水ハウス株式会社	TOTO 株式会社
セコム株式会社	東邦ガス株式会社
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	国立大学法人東北大学
総合警備保障株式会社	東北電力株式会社
ソニー株式会社	東洋インキ SC ホールディングス株式会社
損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社	東洋製罐株式会社
第一三共株式会社	東レ株式会社
大栄環境グループ	凸版印刷株式会社
ダイキン工業株式会社	トクラス株式会社
大成建設株式会社	株式会社トンボ
株式会社ダイセキ環境ソリューション	中日本高速道路株式会社
大東建託株式会社	国立大学法人名古屋大学
大日本印刷株式会社	成田国際空港株式会社
株式会社ダイフク	南海電気鉄道株式会社
太平洋セメント株式会社	西日本旅客鉄道株式会社
大豊工業株式会社	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

7. 応募団体一覧

日本コカ・コーラ株式会社	国立大学法人北海道大学
日本精工株式会社	本田技研工業株式会社
日本製紙株式会社	マツダ株式会社
日本電信電話株式会社	国立大学法人三重大学
日本特殊陶業株式会社	ミサワホーム株式会社
日本郵船株式会社	独立行政法人水資源機構
野村ホールディングス株式会社	株式会社ミダック
パナソニック株式会社	三井化学株式会社
パナホーム株式会社	三菱自動車工業株式会社
ハリマ化成グループ株式会社	三菱樹脂株式会社 長浜工場/浅井工場
株式会社バンダイナムコホールディングス	三菱樹脂株式会社 平塚工場
株式会社 PFU	三菱 UFJ リース株式会社
東日本電信電話株式会社	みやぎ生活協同組合
日立キャピタル株式会社	森永乳業株式会社
日立建機株式会社	矢崎総業株式会社
日立工機株式会社	株式会社ヤマダ電機
株式会社日立製作所	ヤマトホールディングス株式会社
ヒューリック株式会社	ユニー株式会社
株式会社フジクラ株式会社	国立大学法人横浜国立大学
富士ゼロックス株式会社	横浜ゴム株式会社
富士通株式会社	ライオン株式会社
富士電機株式会社	リコーグループ
富士フイルムホールディングス	理想科学工業株式会社
芙蓉総合リース株式会社	リヴァックスホールディングス株式会社
ブラザー工業株式会社	レンゴー株式会社
株式会社ブリヂストン	ローム株式会社
プリマハム株式会社	YKK 株式会社
北興化学工業株式会社	YKKAP 株式会社

環境活動レポート部門

特定医療法人社団愛有会久米川病院	有限会社坂井商店
株式会社アメニティいわき	株式会社サンキョウ-エンビックス
株式会社安成工務店	サンテックワールド株式会社
一宮生活協同組合	株式会社サンテン都市開発
上島珈琲貿易株式会社	山陽色素株式会社
内田工業株式会社	山陽製紙株式会社
株式会社宇部セントラルコンサルタント	有限会社三立
MHPS エンジニアリング株式会社横浜事業部及び総務部	株式会社三和工業所
大鐘測量設計株式会社	株式会社 GE
社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会吹田病院	JFE プラリソース株式会社
大阪狭山市役所	塩田工業株式会社
大阪信用金庫	滋賀シミズ精工株式会社
株式会社河原工房	清水長金属工業株式会社
株式会社環境計画研究所	株式会社シュガーアンドスパイス
特定非営利活動法人環境ネットやまがた	城陽ダイキン空調株式会社
株式会社環境ビジネスエージェンシー	白鷺電気工業株式会社
株式会社カンサイ	新日本カレンダー株式会社本社 東京支店、名古屋支店、九州支店、丸亀工場
菊川市役所	公益財団法人吹田市文化振興事業団
株式会社キャストム	杉山メディアサポート株式会社
九州林産株式会社	スズキメタル株式会社
医療法人玉昌会	静岡信用金庫
株式会社クニホーミング	株式会社セイロモータース
ケーピー株式会社	関野建材工業株式会社
株式会社こうこく	株式会社セリタ建設
ゴウダ株式会社	センテック株式会社
河南町役場	ダイオ化成株式会社
光洋電器工業株式会社	株式会社大伸建設工業
学校法人郡山開成学園	台東部品株式会社本社、白井工場
株式会社コス	太陽油脂株式会社
寿化工株式会社	特定医療法人ダイワ会大和中央病院
小林工業株式会社	高島屋スペースクリエイティブ株式会社
株式会社コバヤシ精密工業	株式会社タズミ
コムパックシステム株式会社	株式会社 DINS 堺
株式会社こんの	東海ガス株式会社

7. 応募団体一覧

東洋冷蔵株式会社	公益財団法人広島市スポーツ協会
都市産業株式会社	公益財団法人広島平和文化センター
トヨタカローラ中京株式会社	廣間組有限会社
株式会社トヨタレンタリース熊本	株式会社フィデア情報システムズ
株式会社長沢電機	福井環境事業株式会社
株式会社長門屋商店	富士グリーンメンテナンス株式会社
中野町産業株式会社	株式会社フジヤマ
中山化成有限会社	株式会社二葉建設
流山市	双葉建設株式会社
成光運輸株式会社	豊栄建設株式会社
国立大学法人鳴門教育大学	ポーソー油脂株式会社
西岡化建株式会社	株式会社北陽商会
株式会社西日本光創	株式会社松尾モーターズ
株式会社仁張工作所	マロニー株式会社
ネクスト環境コンサルタント株式会社	宮田建設株式会社
はごろもフーズ株式会社	株式会社みやま
株式会社林自動車工業	明京電機株式会社
晴栄運送有限会社	株式会社弥生石油店
ビジネス環境整備株式会社	ユーレックス株式会社
	来ハトメ工業株式会社



環境省

第19回 環境コミュニケーション大賞事務局

株式会社ダイナックス都市環境研究所

〒105-0003 東京都港区西新橋2-11-5 TKK西新橋ビル3階

TEL:03-3580-8221 FAX:03-3580-8265